

8-1 宇美町の公共交通を取り巻く現状と課題

宇美町の地域公共交通の課題

まちづくりと連携し、町民が利用しやすい公共交通を、将来に渡って持続的に提供していくための課題を以下に整理する。

■町民のニーズに対応し、運行効率性の改善に向けて公共交通ネットワークを見直す必要がある

- 路線バスは、少子化や生産年齢層の減少などの通勤・通学需要の減少に加え、テレワークの普及などによって全体の需要が減少しており、それに伴って運営が厳しくなっている。宇美町も自主財源が少ない中、財政負担額の増大は負担になっている。
- JR 香椎線においても新型コロナの影響から回復しきれず、輸送人員は減少している。
- 福祉巡回バスは利用者からの評価は得ている一方で、町民の大多数から認知されていない状況もあり、利用者は限られており、費用対効果が低い。
- 路線バス、タクシーともに、運転手不足が深刻化しており、現状のサービス水準の維持も困難な状況にある。

⇒公共交通サービスの維持・利便性向上に向けて、町民の移動需要に応じた全体的な公共交通体系の再構築を行う必要がある。

■公共交通を利用しやすく、円滑に移動しやすい環境への改善が必要である

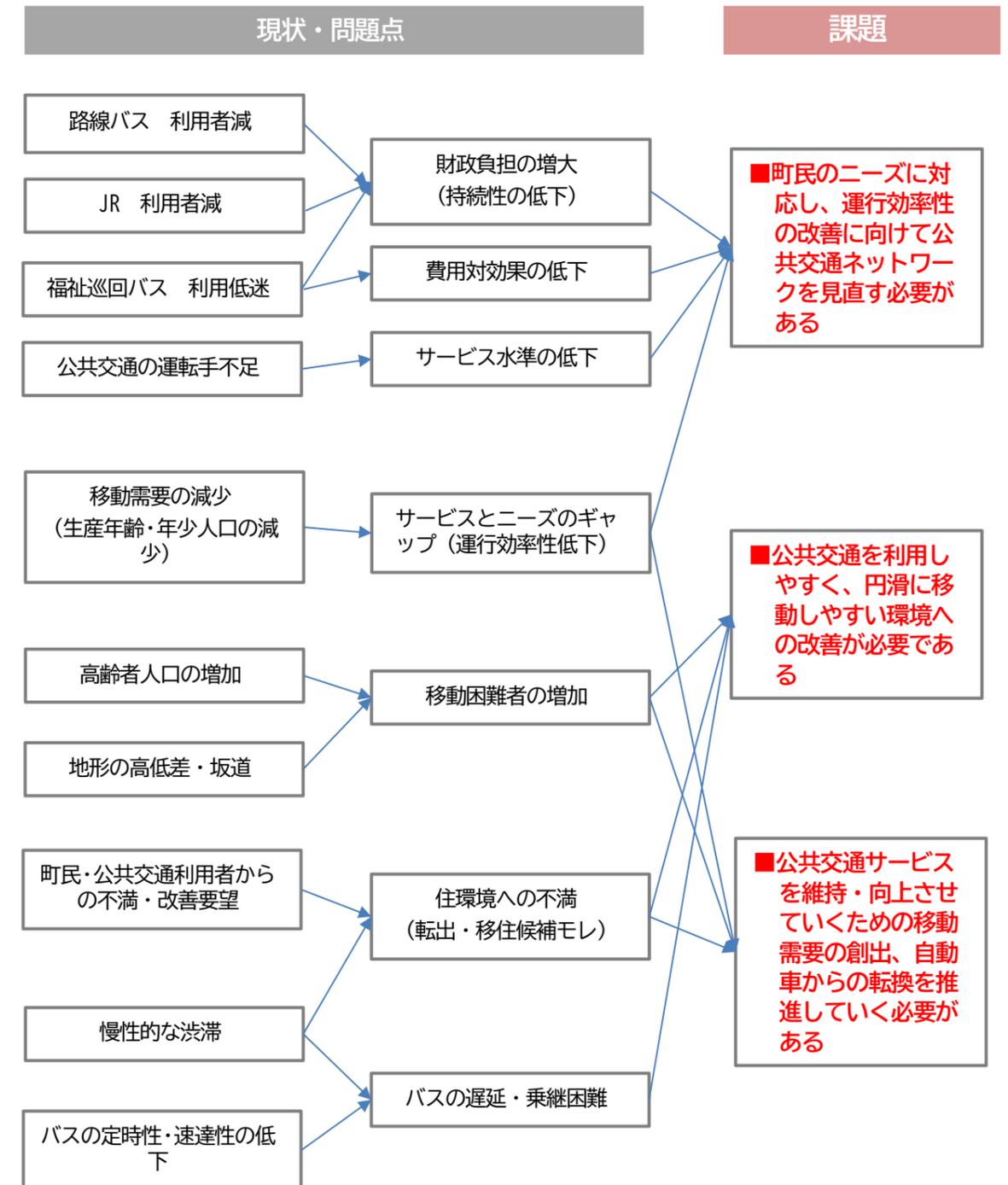
- 高齢者が今後急激に増加することが予測される。特に、昭和40年代に開発された住宅戸建て団地（ひばりが丘、四王寺坂、神の手、ゆりが丘、貴船ガーデン、桜原）などは、高低差が大きく、坂道が多いため、徒歩や自転車での移動が困難な高齢者が増えてくることが想定される。買物や通院での困りごとに、荷物を運ぶのがつらい、徒歩や自転車での移動がつかないといった意見も確認されている。
- 町内には、公共交通空白地域があまりなくサービスが概ね提供されている状況にあるが、宇美駅へのアクセシビリティは福祉巡回バスのみ運行している地域は他地域よりも所要時間がかかるなど地域間の格差が生じている。
- JR を利用しない理由では、駅まで行くのが難しいとの回答が多く、駅までのアクセス環境の改善が求められている。路線バスや福祉巡回バスでは所要時間や便数についての指摘が上がっており、利便性向上への要望がある。また、駅やバス停周辺の歩行空間について歩道が狭い、危険との意見が上がっている。
- JR 利用者からは「駅環境の向上」、路線バス利用者からは「バス待ち環境の向上」などの要望もあがっている。さらに、もっと利用を増やすために必要なものとして「運賃割引」が多数あげられている。

⇒誰もが公共交通で外出しやすい環境を整えていくために、駅やバス停までのアクセス、駅やバス停の環境、便数や速達性などの運行サービス、運賃などについて改善していく必要がある。

■公共交通サービスを維持・向上させていくための移動需要の創出、自動車からの転換を推進していく必要がある

- 鉄道、路線バスともに、通勤や通学、買物、私用等で主な外出先となっている博多駅エリアや天神エリア、香椎エリアへアクセス可能な状況にある。しかしながら、公共交通を日常的に利用している割合は2~3割と低い。
- 町内の道路交通状況を見ると、幹線的な道路の混雑度は1.0を超えており、慢性的な渋滞が発生している。自動車利用者からは、渋滞に巻き込まれる、時間が読めないなどの不満があがっている。道路渋滞は路線バスにも影響を及ぼしており、定時性や速達性の損失につながっており、自動車への依存がさらに強まる状況が生じている。
- 宇美町の公共交通の今後のあり方に対して、博多・天神方面の交通サービスの充実への意見が多い。移住・定住促進に向けては、地理的優位性を活かした交通サービスの高い利便性も必要となる。

⇒公共交通の運行効率化や利用しやすい環境を整えていく一方で、町民の交通全体に対する意識を高めていく、利用する機会を創出していくなど、公共交通の利用を促す仕掛けが必要である。

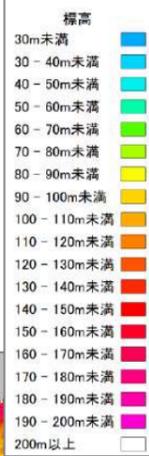


8-2 地域特性

■総人口の推移

① 地域概況

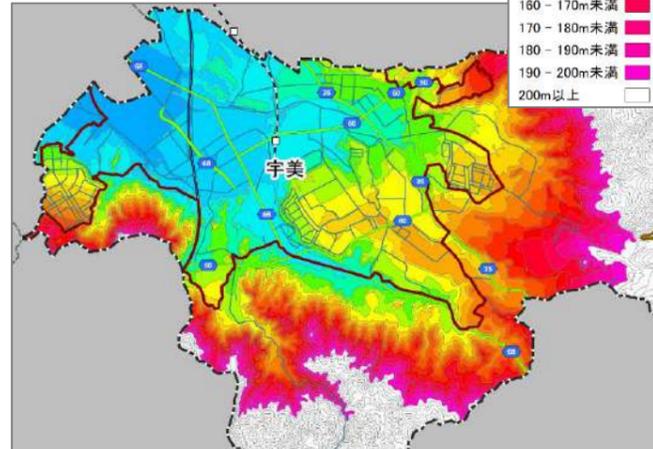
- ・本町は、**福岡都市圏**（福岡市まで約10km）に属し、西は大野城市と福岡市、北西は志免町、北は須恵町、東は飯塚市、南は太宰府市と筑紫野市にそれぞれ隣接している。
- ・町の西側に九州自動車道が通り、太宰府IC、須恵スマートICに近い。鉄道は、JR香椎線宇美駅があり、博多方面、香椎方面、飯塚方面を結び、博多駅までは約35分である。福岡空港にも近く（約5km）、**広域的な交通幹線網が利用しやすい。**
- ・町内は北西辺から宇美駅周辺までは平坦となっている。ひばりが丘や四王寺坂、とびたけ、神山手などは丘陵地を開発した地域で**高低差が大きく、坂が多い。**



【町の位置図】



【町の標高図】

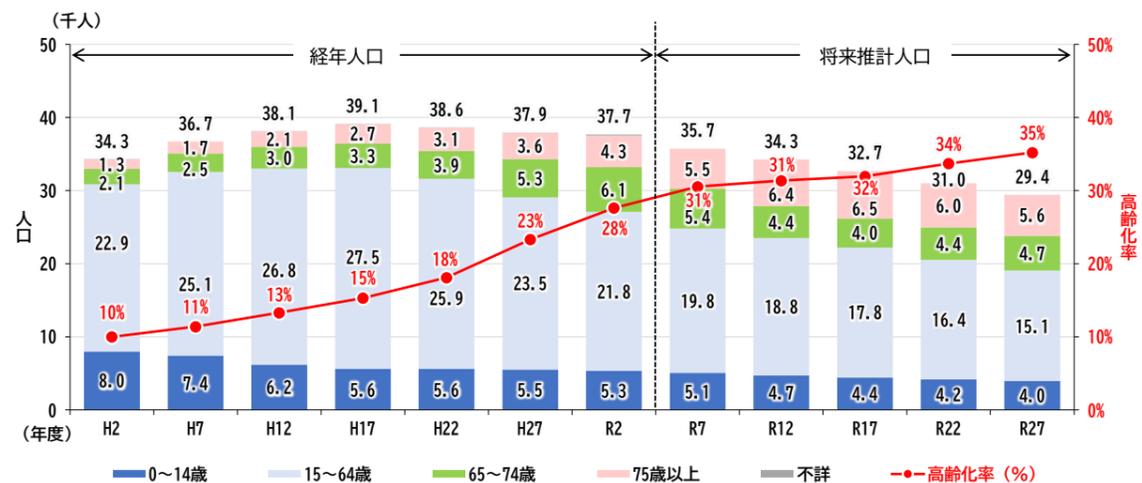


資料：基盤地図情報

② 人口特性

- ・人口は平成17年度以降**減少傾向**にあり、令和2年度時点で37,700人となっている。特に**生産年齢人口**（15～64歳）は、10年前（平成22年）から約**16%減少**している。**将来的にも人口減少は進み**、10年後の令和12年には総人口は34,300人となる見込みである。
- ・**高齢人口は急激に増加**している（平成22年→令和2年で**1.5倍**）。**75歳以上**は今後10年間でさらに**1.5倍**となる見込みである（約**2,100人増**）。
- ・高齢化率は一貫して増加傾向にあり、令和2年度時点で28%、令和12年に31%、令和27年に35%となる見込みである。

【人口推移と将来推計人口】



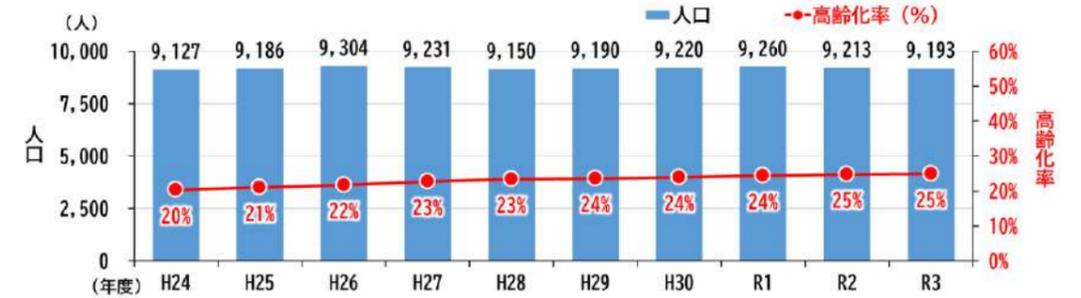
※H2～R2年度：経年人口、R7～R27年：将来推計人口

資料：経年人口/国勢調査（各年）、将来推計人口/国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成30年(2018)年推計）

■地域（小学校区）別の人口推移

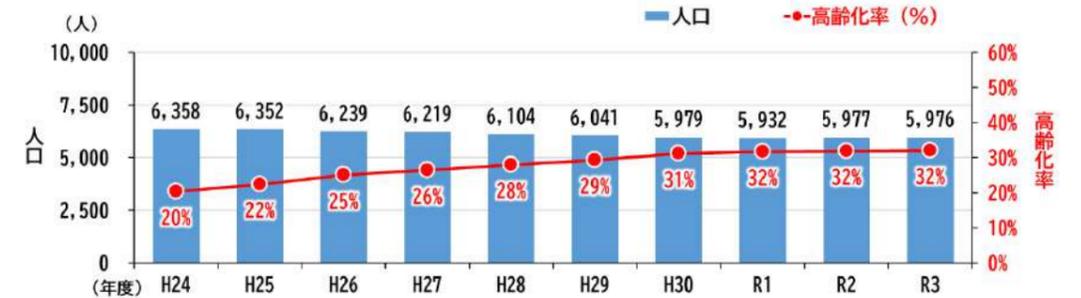
【宇美地域】

H24→R3(10年間)
 ■人口 **66人増**
 ■高齢化率 **5%UP**



【宇美東地域】

H24→R3(10年間)
 ■人口 **382人減**
 ■高齢化率 **12%UP**



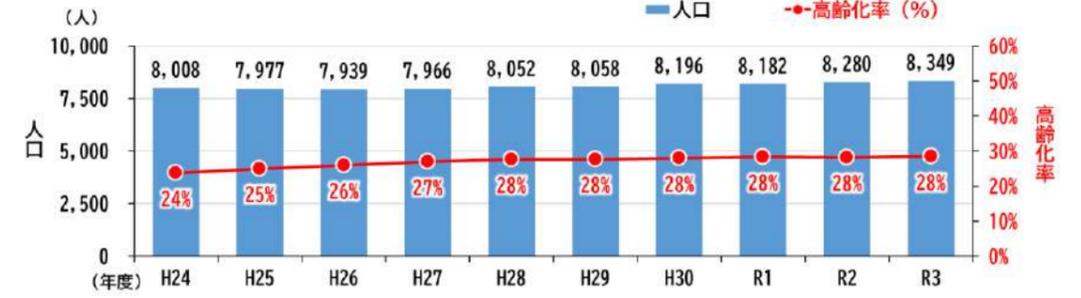
【原田地域】

H24→R3(10年間)
 ■人口 **868人減**
 ■高齢化率 **13%UP**



【桜原地域】

H24→R3(10年間)
 ■人口 **341人増**
 ■高齢化率 **4%UP**



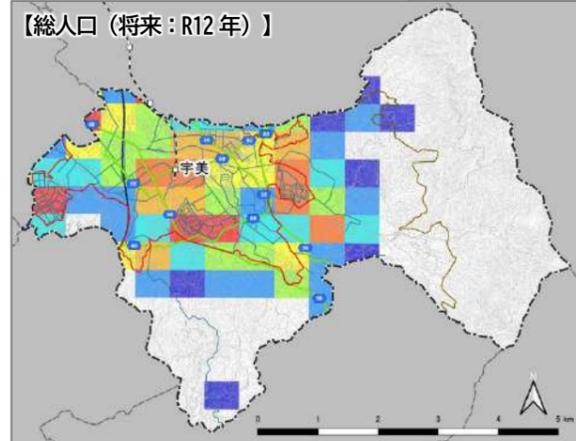
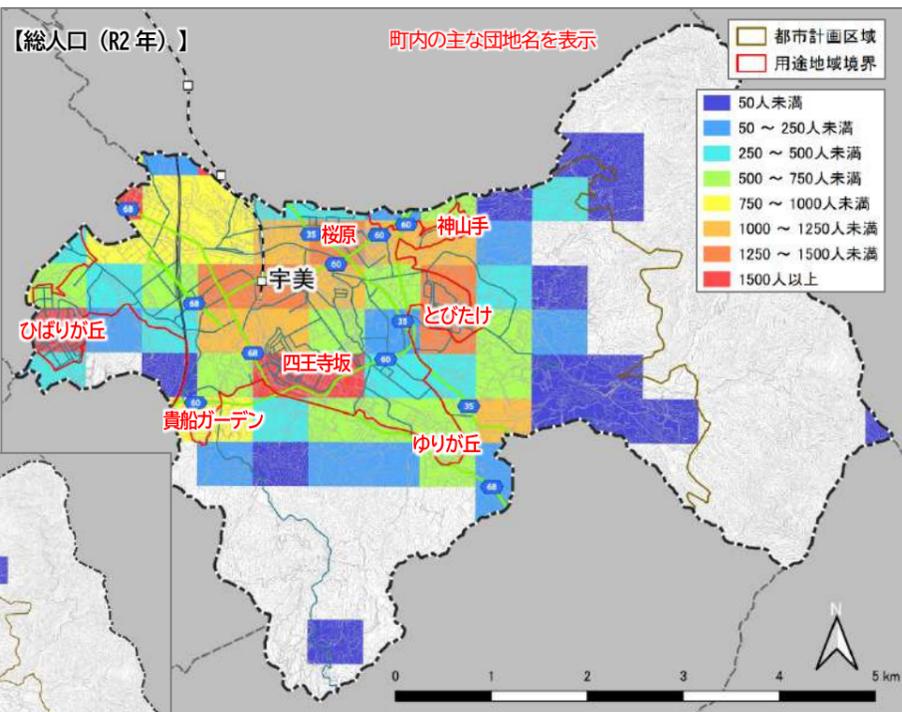
【井野地域】

H24→R3(10年間)
 ■人口 **190人増**
 ■高齢化率 **12%UP**



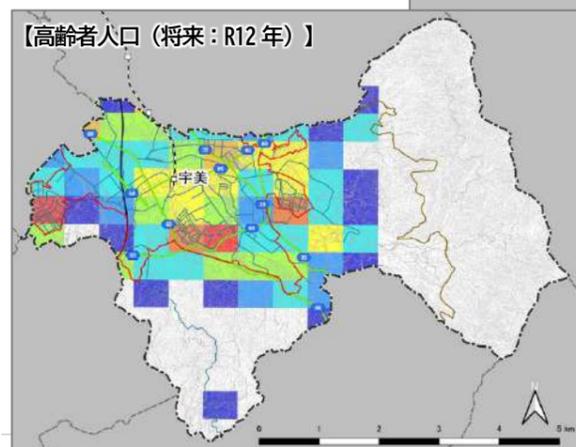
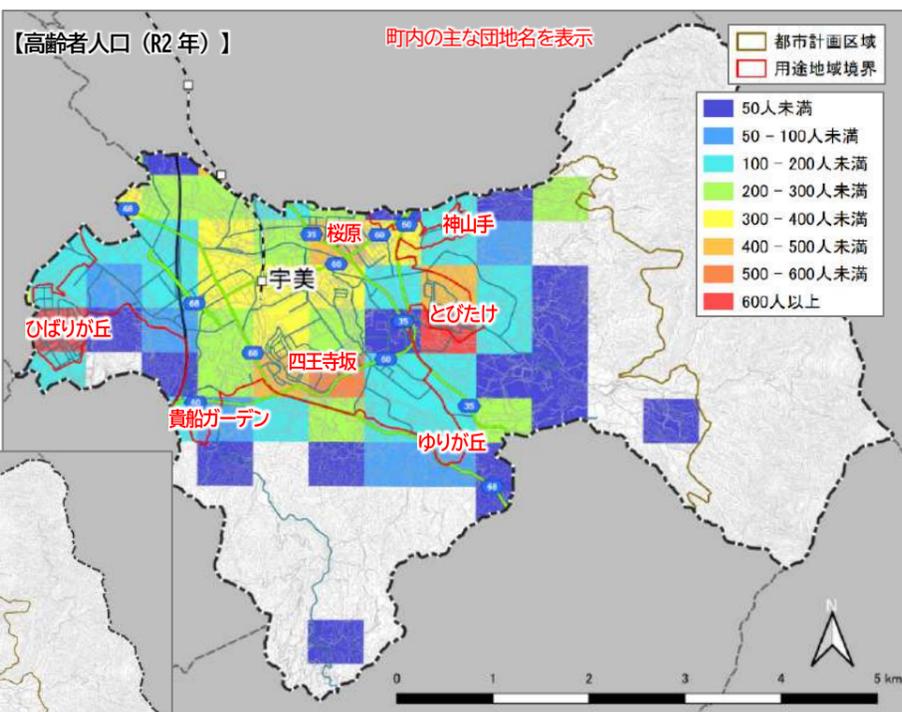
■総人口の分布状況

- ・JR宇美駅周辺やひばりが丘、四王寺坂などの戸建て住宅団地において、高い集積がみられる。また、北西部(明神坂)も比較的高い集積がみられる。用途地域外にも集積がみられるが、人口は相対的に少ない。
- ・R12年(10年後)の将来人口は、JR宇美駅周辺で減少がみられるが、分布状況は大きく変わらない。



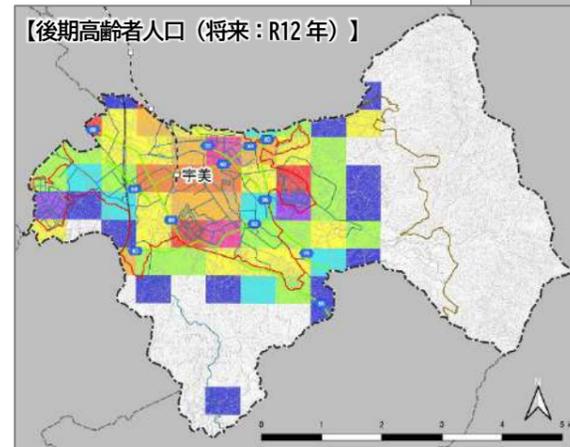
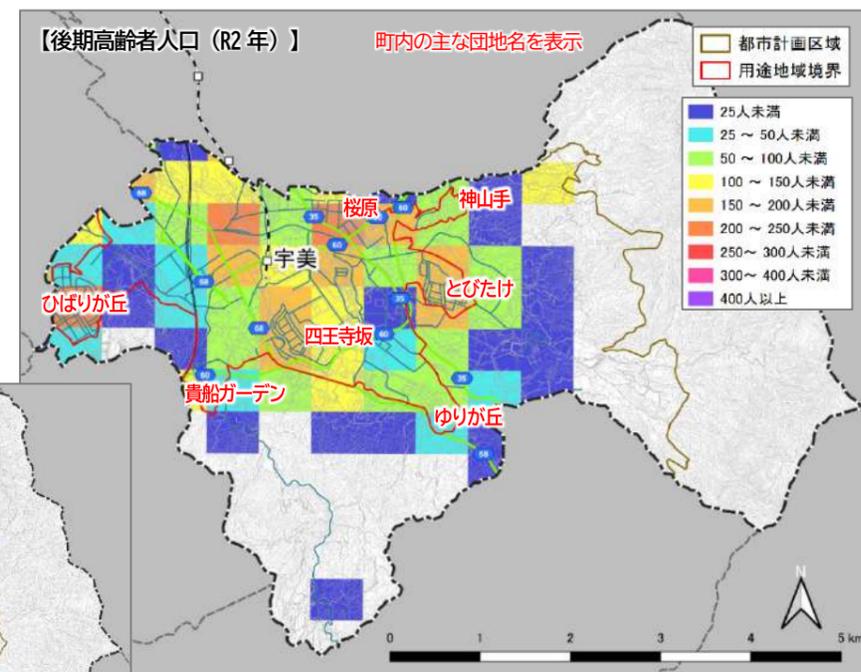
■高齢者人口の分布状況

- ・高齢者人口は、ひばりが丘やとびたけ、四王寺坂などに高い集積がみられる。また、JR宇美駅周辺や北西部も比較的多く居住している。
- ・R12年(10年後)は、全体的に増加する中、ゆりが丘や神の手において急増する見込みである。



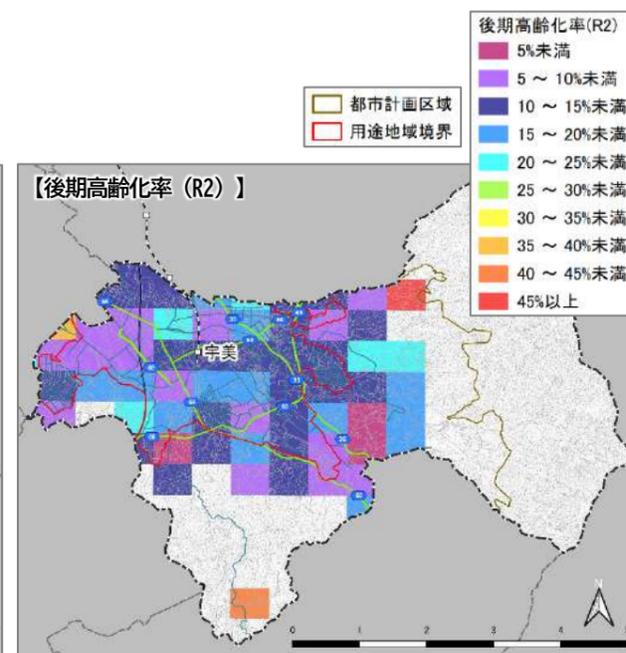
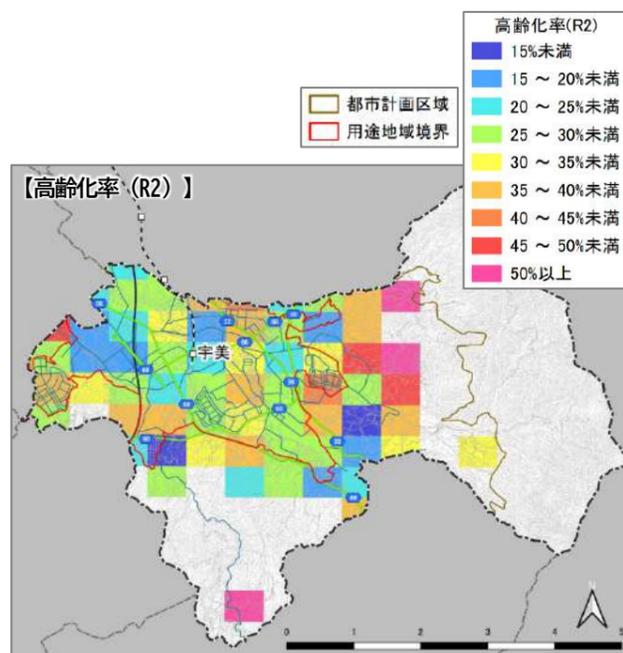
■後期高齢者人口の分布状況

- ・後期高齢者人口は、JR宇美駅北部やひばりが丘の集積が特に高い。その他、四王寺坂やとびたけなども多く居住している。
- ・R12年(10年後)は、全体的に増加する中、とびたけや四王寺坂において急増する見込みである。



■高齢化率・後期高齢化率

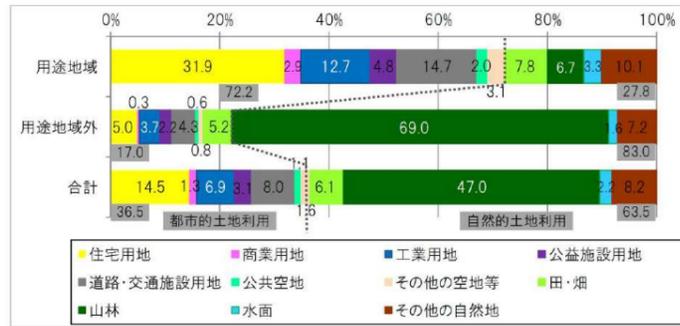
- ・高齢化率は、町東部の障子岳で非常に高い。高齢人口が多い、ひばりが丘やとびたけは高齢化率も相対的に高い。四王寺坂やJR宇美駅周辺、北西部は高くない。
- ・後期高齢化率は、町全体的に15%未満のところが多い。そうした中で、東部やJR宇美駅北側などに25%未満の地域がみられる。



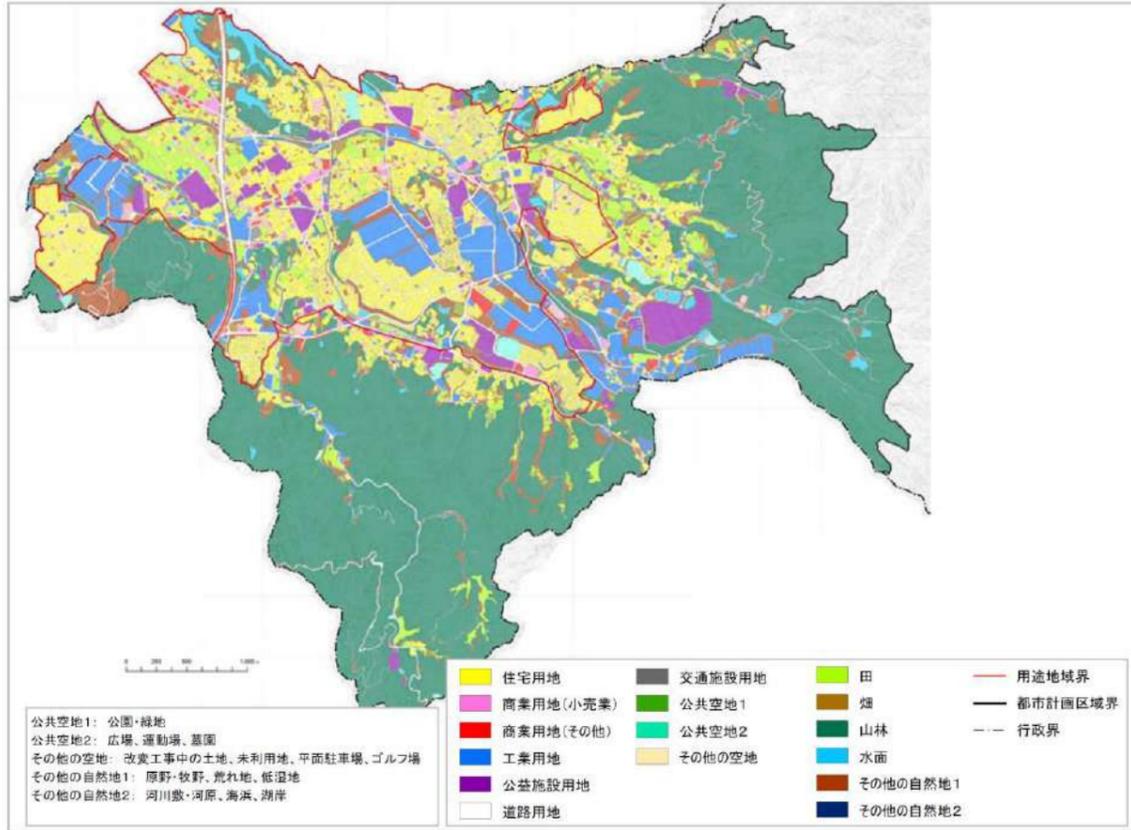
資料：国勢調査、国土数値情報

③ 土地利用状況

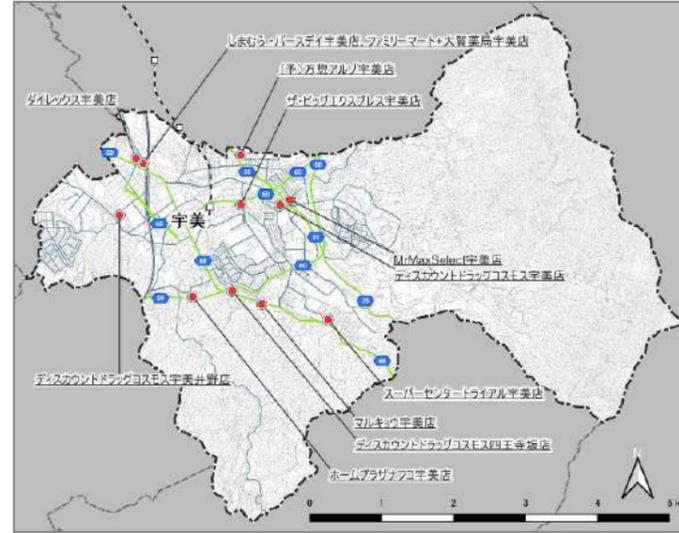
- ・用途地域では、都市的土地利用が72.2%を占め、**住宅用地31.9%**、工業用地12.7%、公益施設用地4.8%、道路・交通施設用地14.7%が多くを占めている。一方で、その他自然地10.1%、田・畑7.8%の割合も高い。
- ・用途地域外では、自然的土地利用が83%を占めている。



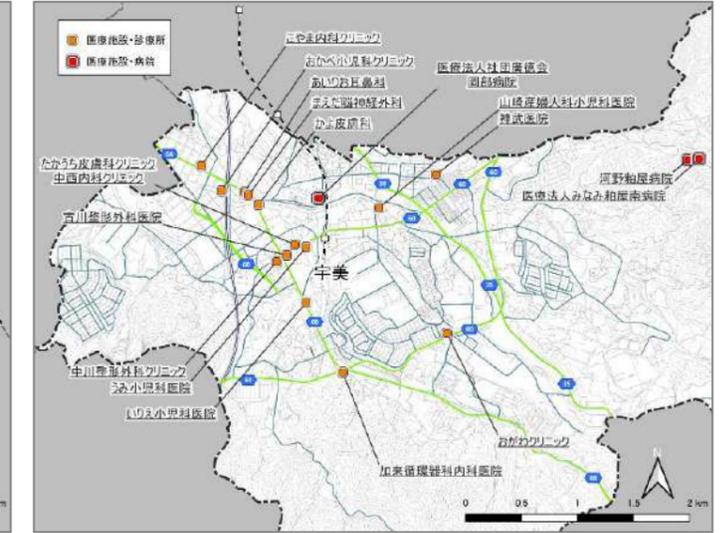
【土地利用現況図】



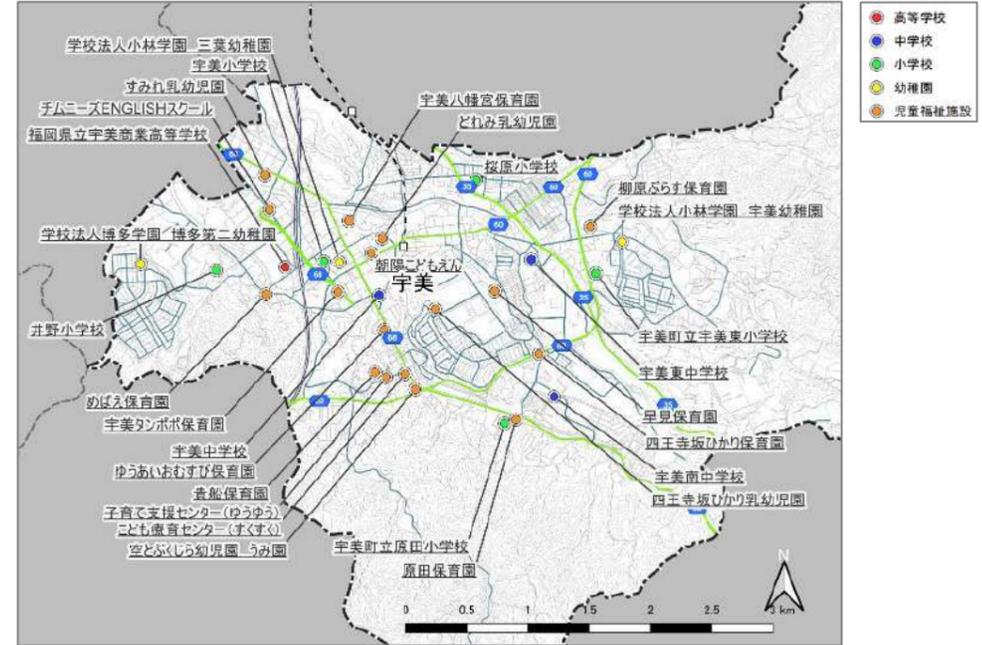
【大型商業施設】



【医療施設】



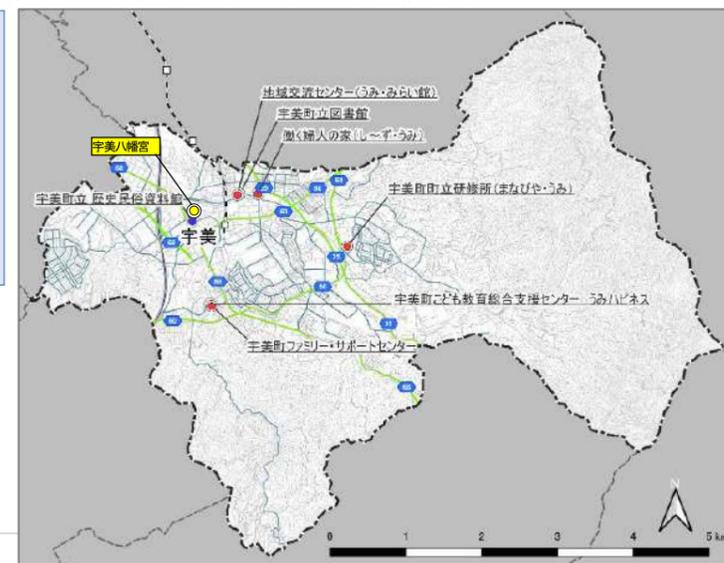
【教育施設・児童福祉施設】



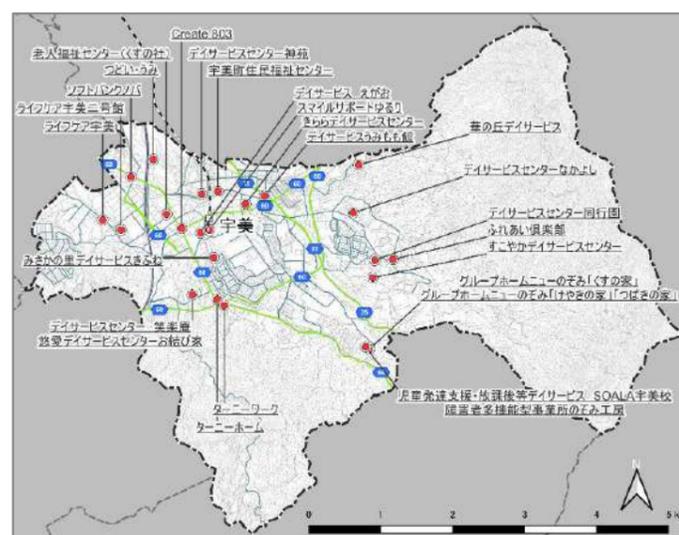
④ 施設立地状況

- ・商業施設は、**県道68号(福岡太宰府線)**、**県道35号(筑紫野古賀線)**、**県道60号(飯塚大野城線)**の**沿線**に多く立地している。
- ・医療施設は、**県道68号(福岡太宰府線)**や**県道60号(飯塚大野城線)**の**上宇美地区**や**下宇美地区**に多く立地している。

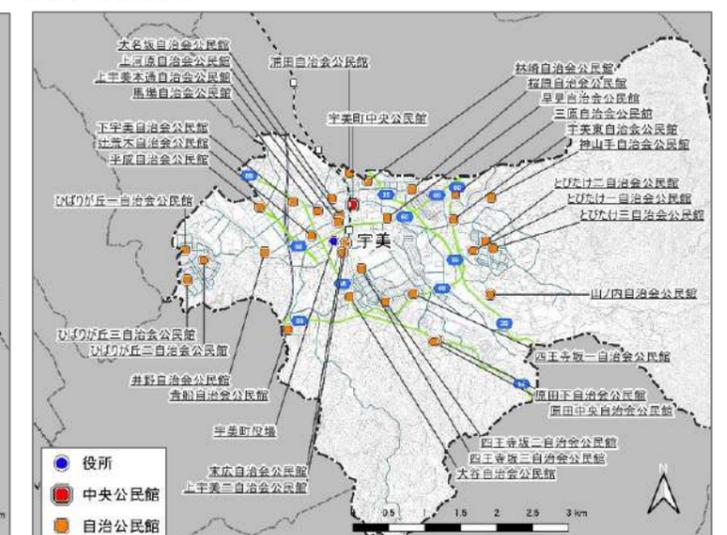
【観光地・文教施設・まちづくり交流・産業振興】



【福祉施設】



【公共・公益施設】



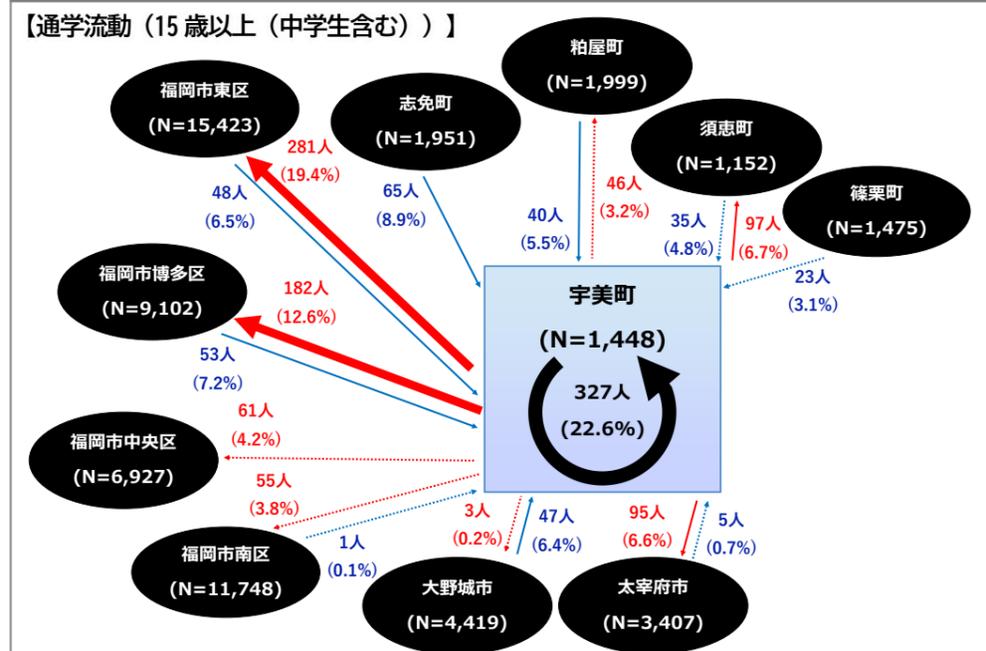
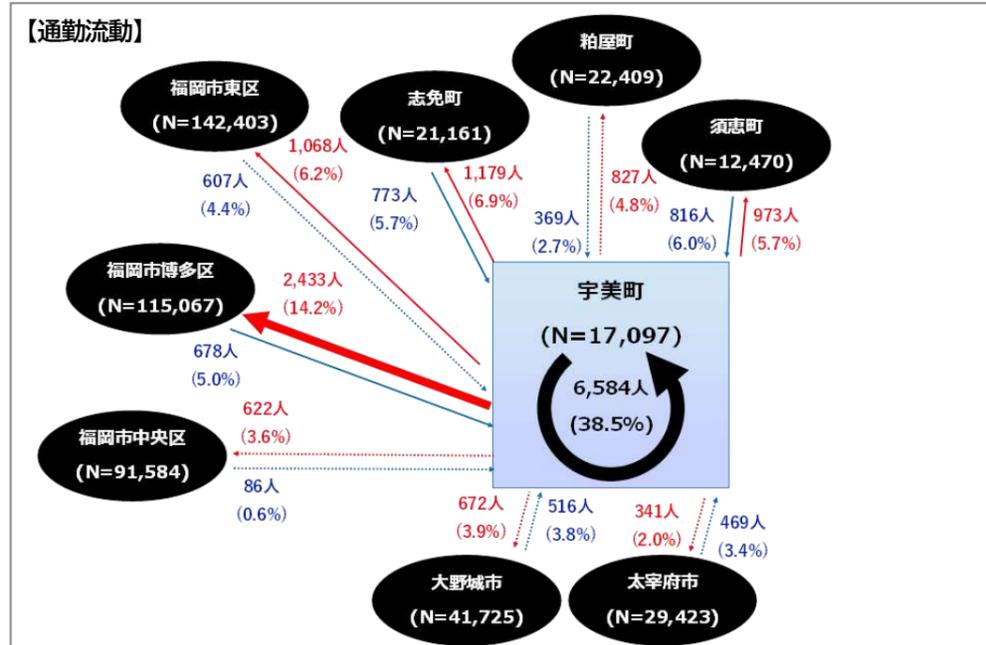
⑤ 移動特性

■通勤流動

- ・町民の就業者（約17,000人）のうち、約6割は町外で就業している。主な就業先は、**福岡市博多区**が2,433人（14.2%）、**志免町**が1,179人（6.9%）、**福岡市東区**が1,068人（6.2%）である。
- ・町外から宇美町への通勤者は約6,700人で、須恵町・志免町・福岡市博多区在住の人が多い。

■通学流動（15歳以上（中学生含む））

- ・町民の通学者（約1,500人）のうち、約7割は町外へ通学している。主な通学先は、**福岡市東区**が281人（19.4%）、**福岡市博多区**が182人（12.6%）である。
- ・町外から宇美町への通学者は336人で、**志免町・福岡市博多区・福岡市東区**在住の人が多い。

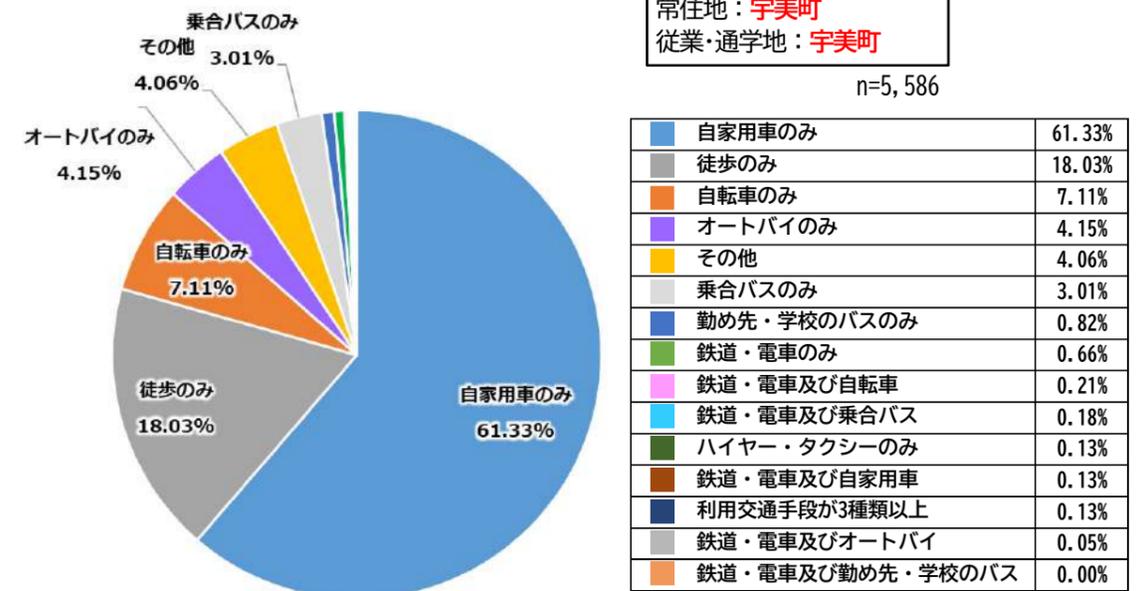


資料：国勢調査（R2年）

■通勤・通学時の交通手段

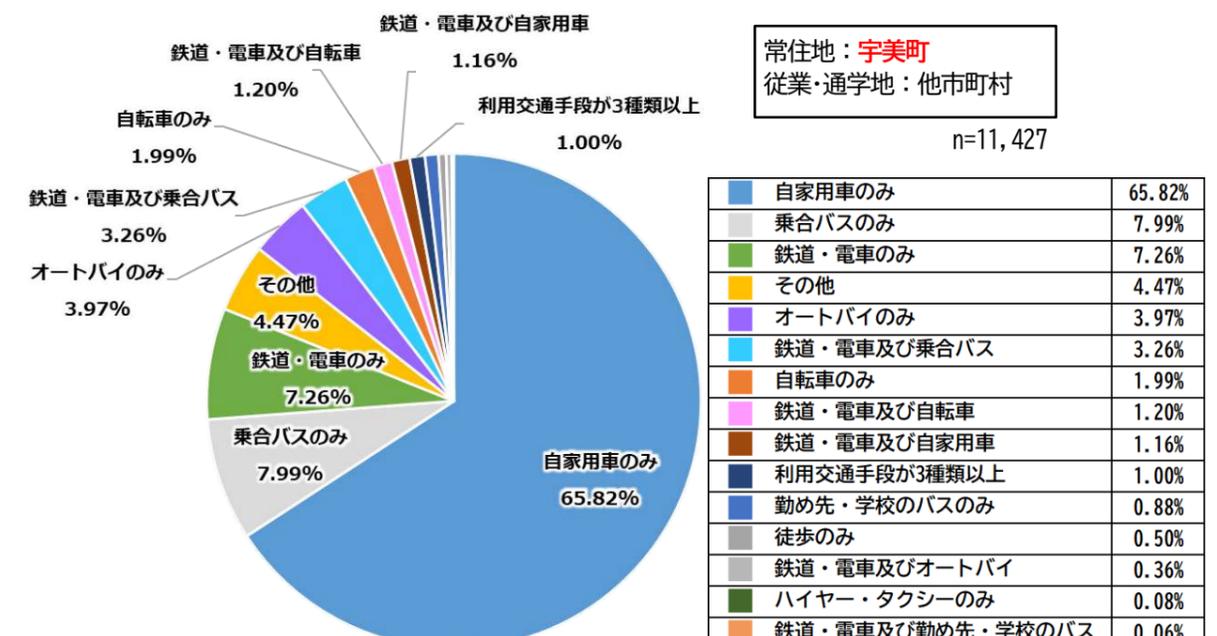
- ・町内、町外問わず自家用車の利用が非常に多く、**通勤者の大半は「マイカー」通勤**となっている。
- ・マイカー以外では、町内の通勤・通学で「徒歩」が18%、**町外への通勤・通学で「乗合バス」や「鉄道・電車などの公共交通」が約15%**を占めている。

【宇美町で従業・通学する人の交通手段】



注) 1%以上のみラベルを記載

【宇美町以外の他市町村で従業・通学する人の交通手段】



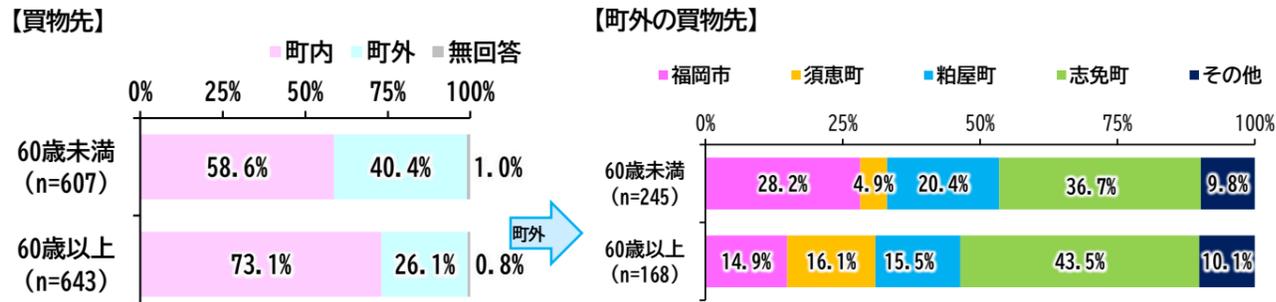
注) 1%以上のみラベルを記載

資料：国勢調査（R2年）

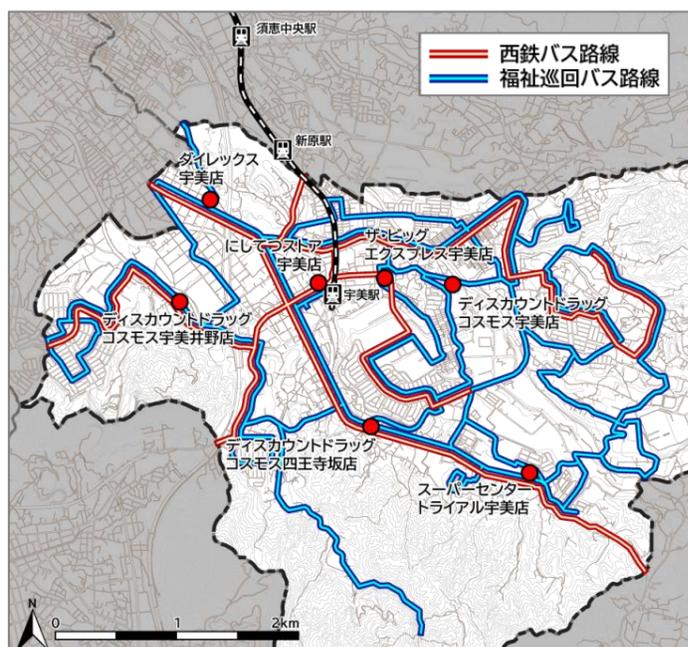
※15歳以上の就業・通学者、従業・通学地「不詳」を含む
 注) 宇美町から他市町村への通勤・通学者の割合は、母数を宇美町内の全従業・通学者数としている。
 他市町村から宇美町への通勤・通学者の割合は、母数を常住先の全従業・通学者数としている。

■買物に関する移動特性（住民アンケートより）

- ・買物は60歳未満で約6割、60歳以上で約7割が町内の店舗を利用しており、トライアルやにしてつストア、ザ・ビック（イオン）、コスモスなどのスーパーやドラッグストアなどが多く指摘されている。
- ・町外への買物は、志免町が多く若い方から高齢の方も含めて約4割の方が外出している。その他、60歳未満では福岡市へも約3割程度が外出している。
- ・交通手段は専ら自動車で、65歳未満は8割、65歳以上も7割となっている。高齢者は西鉄バス（15%）、タクシー（5%）、福祉巡回バス（4%）の利用も見られる。
- ・買物支援サービスの利用は少ないものの、生協の宅配サービスは15~18%の方が利用している。



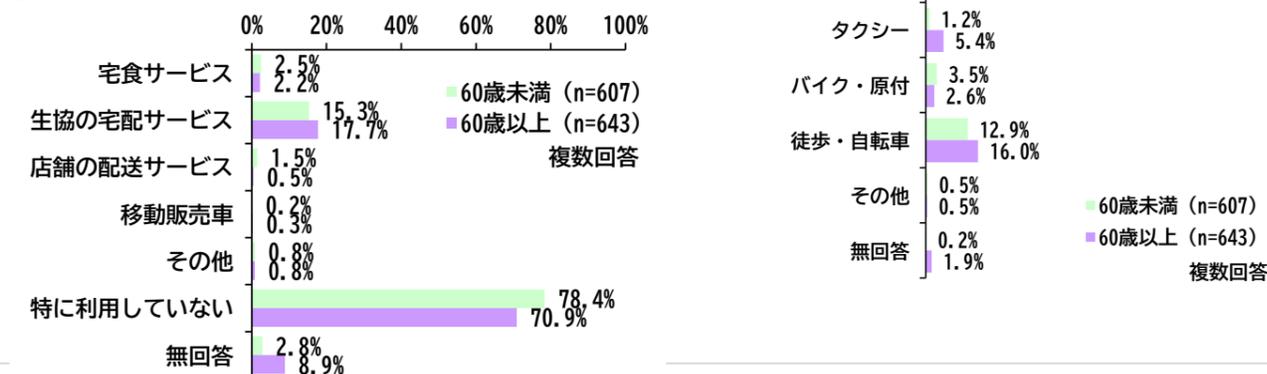
【町内の主な買物先（店舗）】



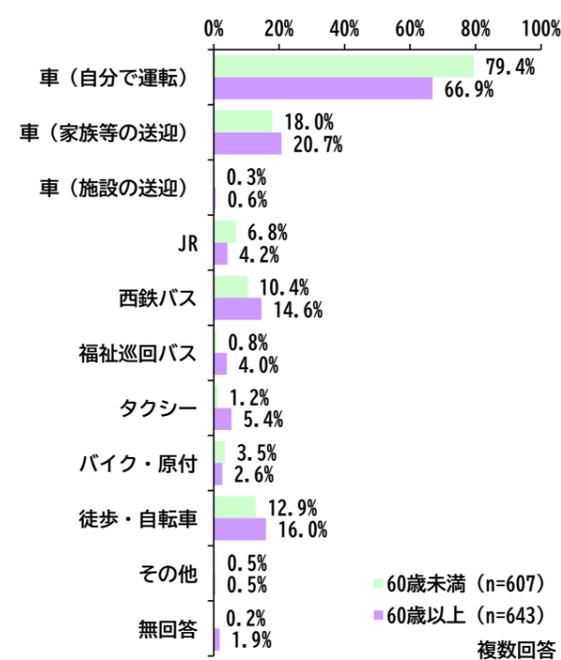
町内の主な買物先（指摘上位5位）	指摘数
1 スーパーセンタートライアル宇美店	176
2 にしてつストア	172
3 ザ・ビックエクスプレス宇美店	158
4 ディスカウントドラッグコスモス（具体的な店舗名までは不明）	143
5 ダイレックス宇美店	115

注）自由記述回答を集約して集計

【利用している買物支援サービス】

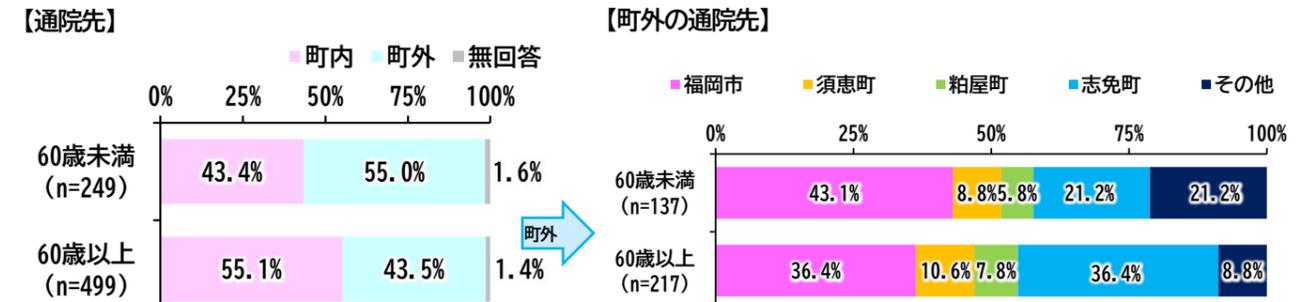


【交通手段】

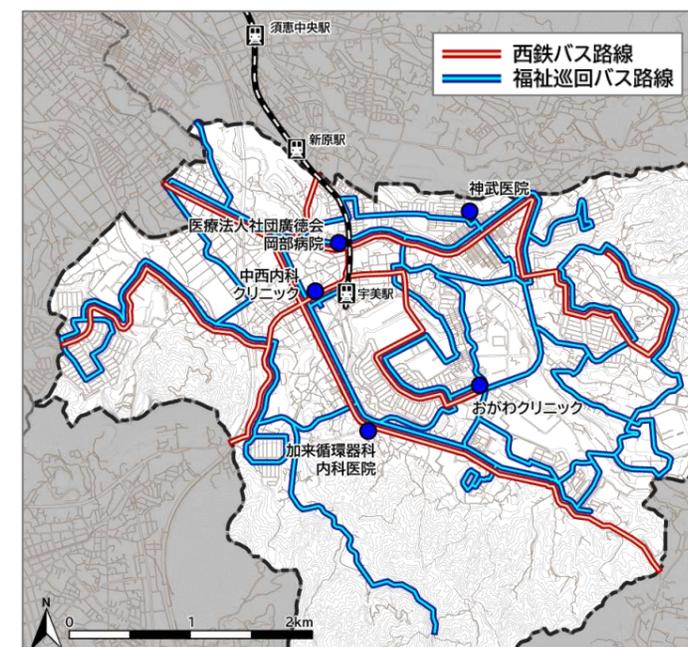


■通院に関する移動特性（住民アンケートより）

- ・通院は60歳未満で約4割、60歳以上で約6割の方が町内の病院へと通院しており、岡部病院や加来循環器内科医院、小川クリニックなどが多く指摘されている。
- ・町外への通院は、60歳未満の方は福岡市（43%）、志免町（21%）が多く、65歳以上の方も同様に、福岡市と志免町がともに36%の指摘であった。
- ・交通手段は専ら自動車で、65歳未満は8割、65歳以上も6割となっている。高齢者は西鉄バス（16%）、タクシー（7%）、福祉巡回バス（3%）の利用も見られる。
- ・診療サービスの利用は少なく、訪問診療が3%利用されている程度であった。



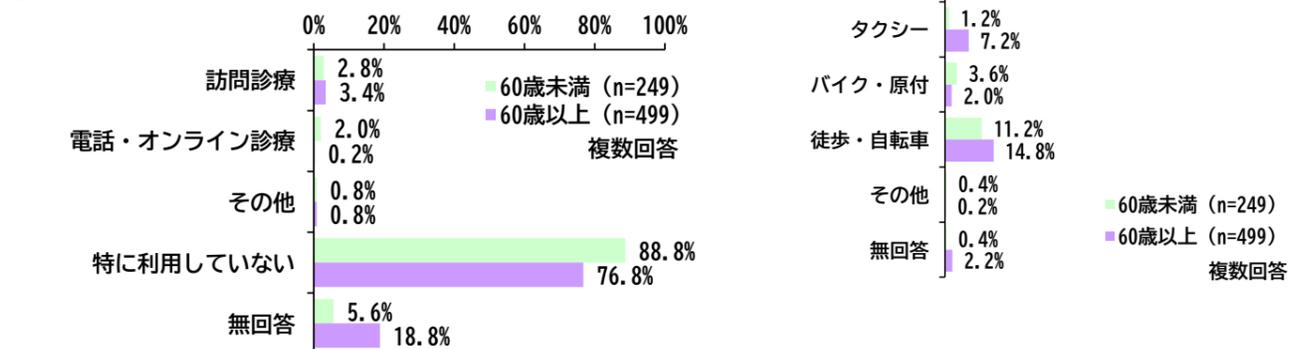
【町内の通院先（病院等）】



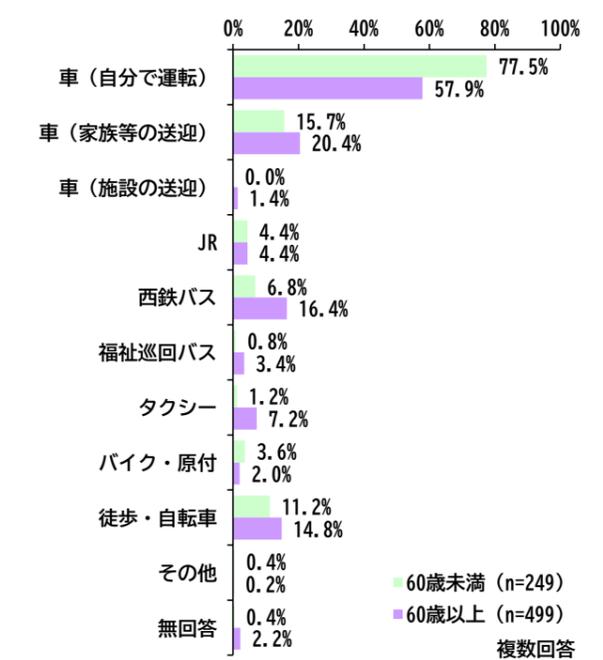
町内の主な通院先（指摘上位5位）	指摘数
1 医療法人社団廣徳会 岡部病院	84
2 加来循環器科内科医院	47
3 おがわクリニック	46
4 神武医院	24
5 中西内科クリニック	15

注）自由記述回答を集約して集計

【利用している診療サービス】

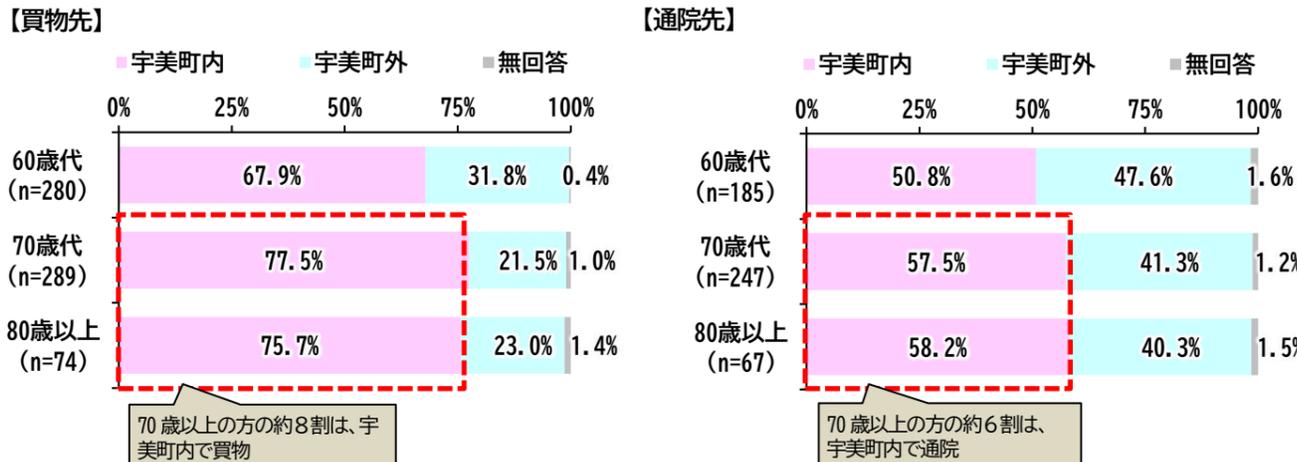
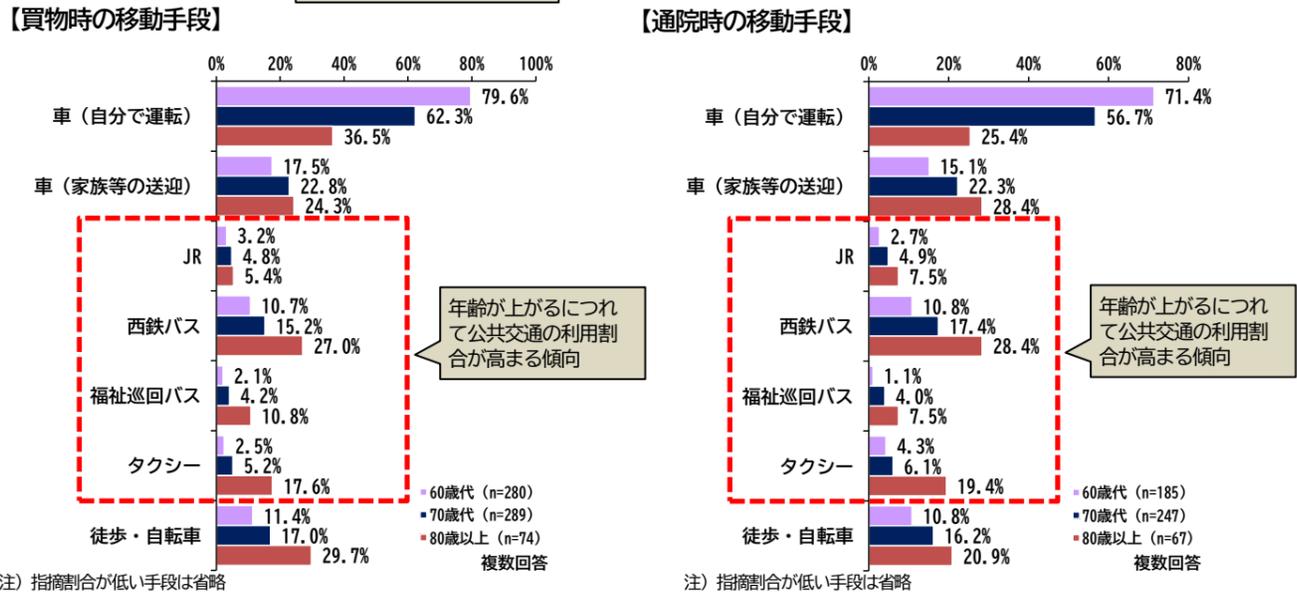
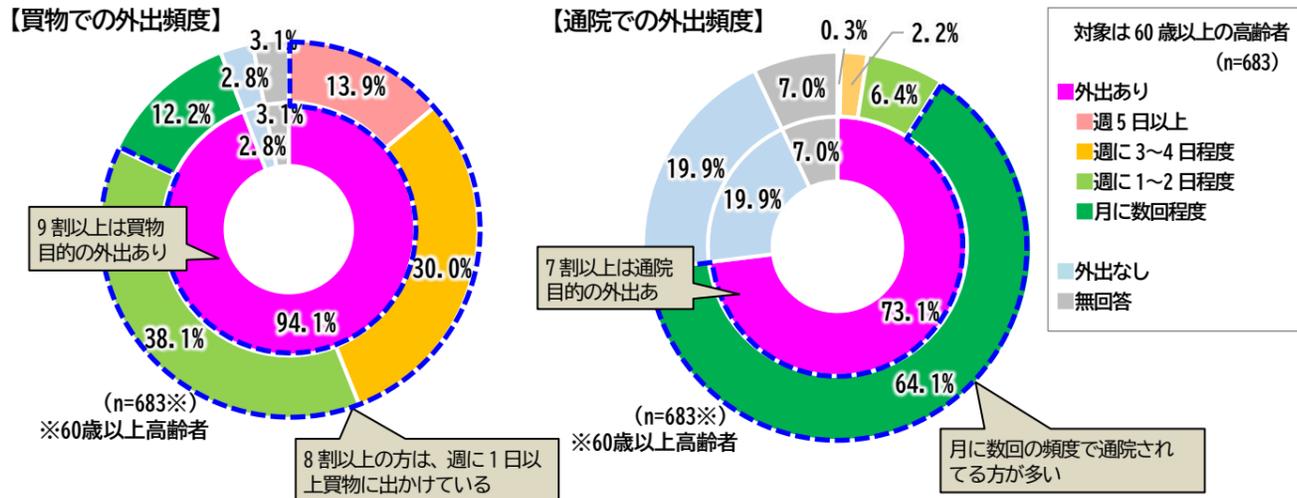


【交通手段】



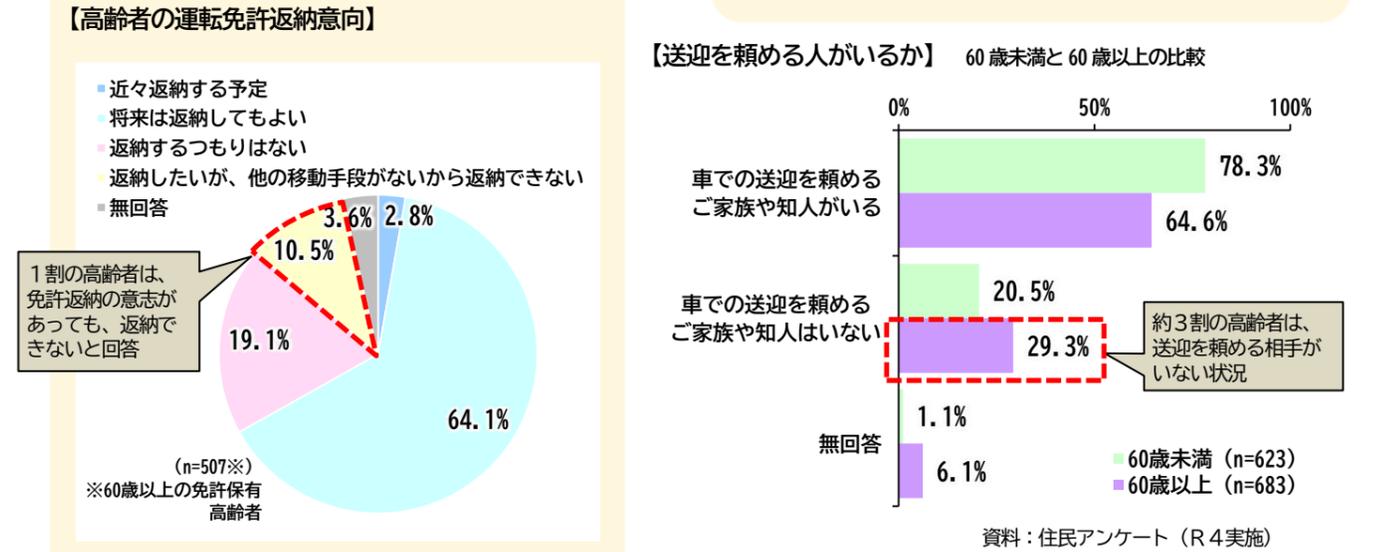
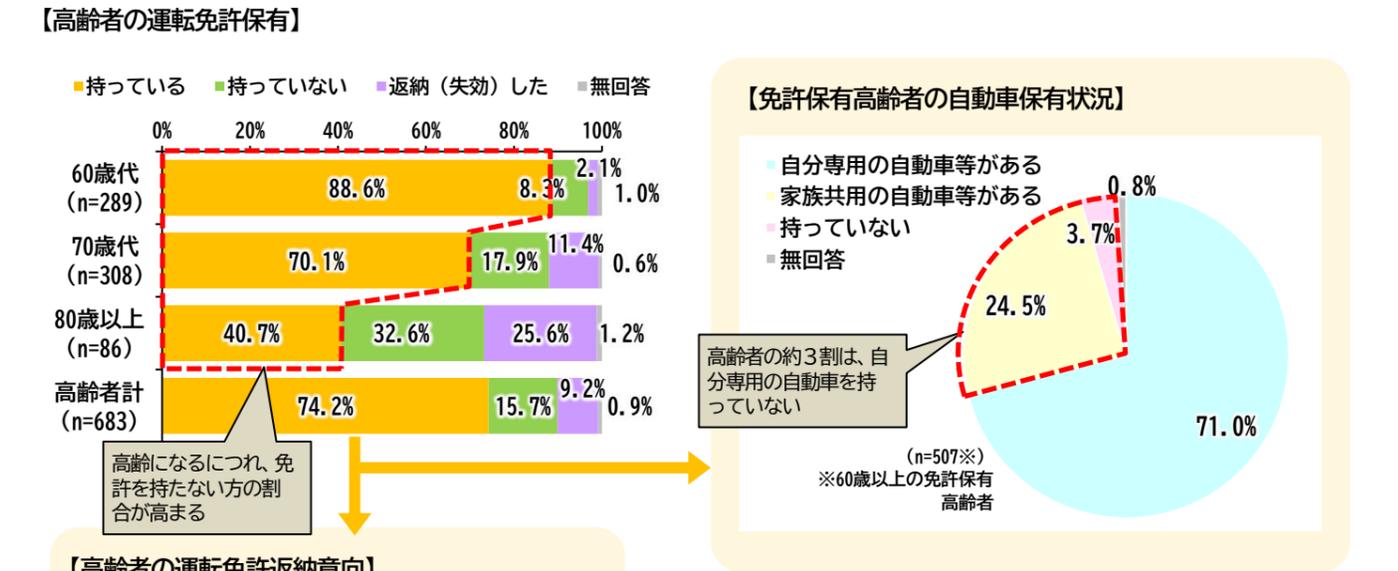
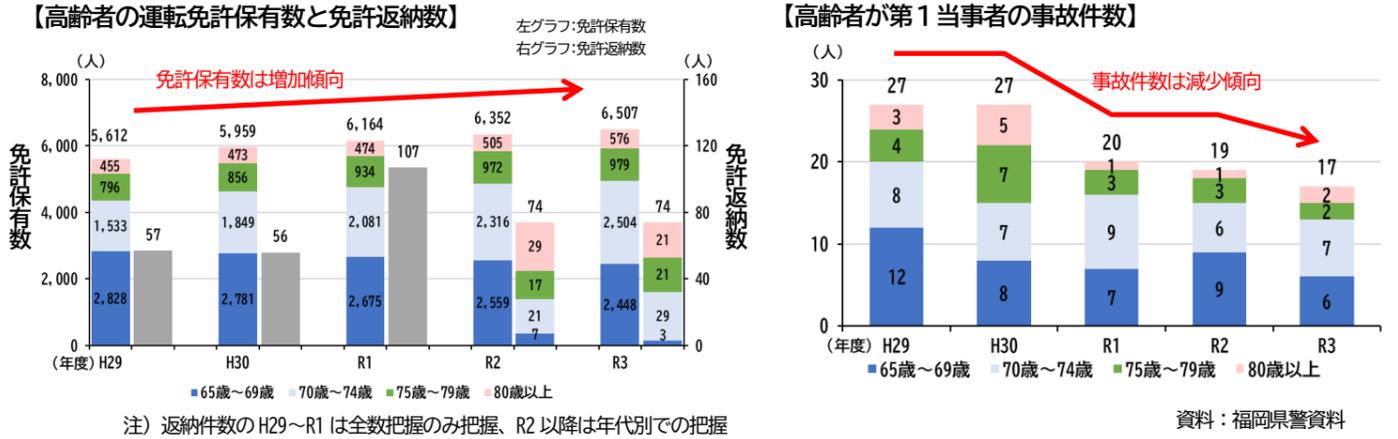
■高齢者の移動特性（買物・通院）

- ・買物の頻度は、週に1~2日程度（38%）、週に3~4日程度（30%）が多い。移動手段は、高齢になるほど車（自分で運転）の割合は下がり、家族等の送迎や公共交通の利用割合が高まる。買物先は、70歳以上の方の約8割が宇美町内の店舗を利用している。
- ・通院の頻度は、月に数回程度（64%）が最も多い。移動手段の傾向は買物と同様の傾向、通院先は70歳以上の方の約6割が宇美町内で通院している。



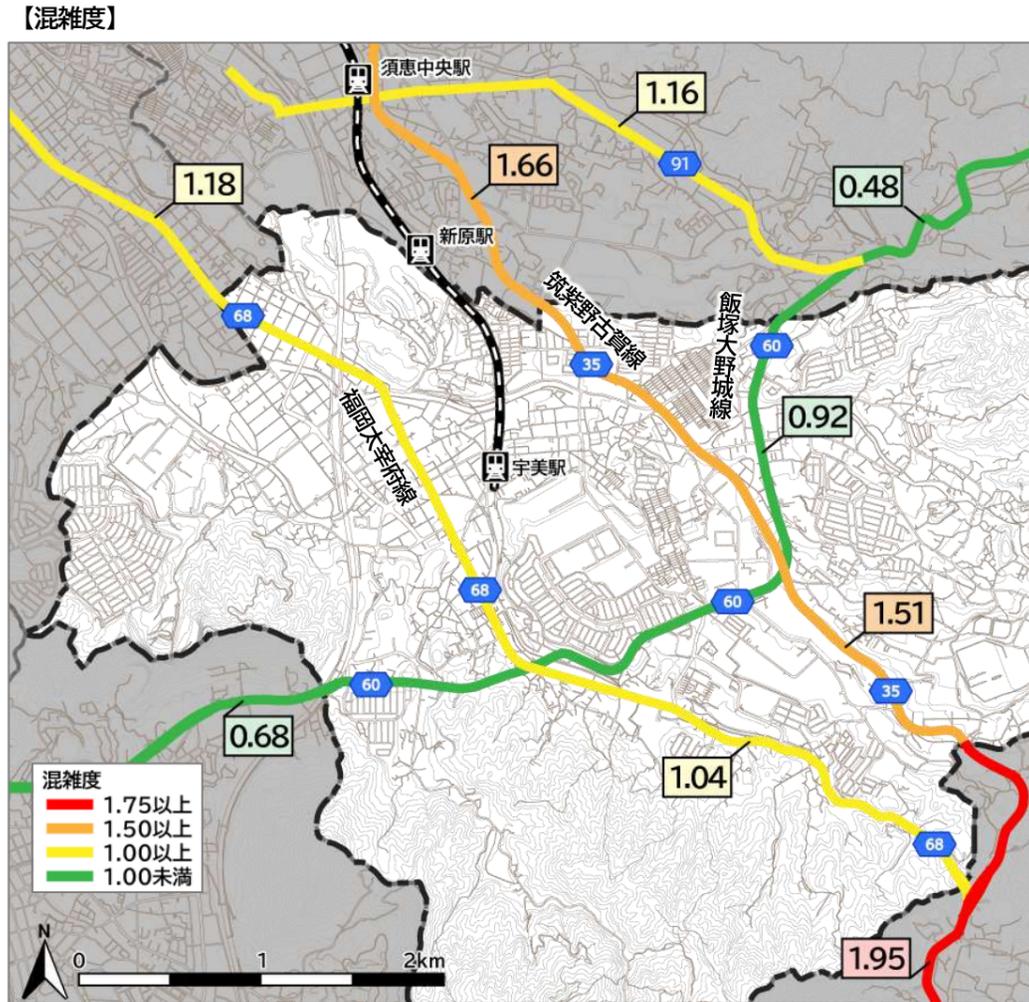
◎高齢者の運転状況

- ・65歳以上町民の運転免許保有状況は増加傾向にあり、令和3年は6,500人であった。また運転免許返納者数は、令和元年に107人であったが、令和3年は74人であった。
- ・高齢者の事故件数は、令和元年以降、減少傾向にあり、令和3年の事故件数は17件であった。
- ・住民アンケートによると、運転免許を保有している高齢者の約3割は自分専用の自動車を持っておらず、また、約1割は返納意思があるものの、移動手段がないことを理由に返納できない状況にある。

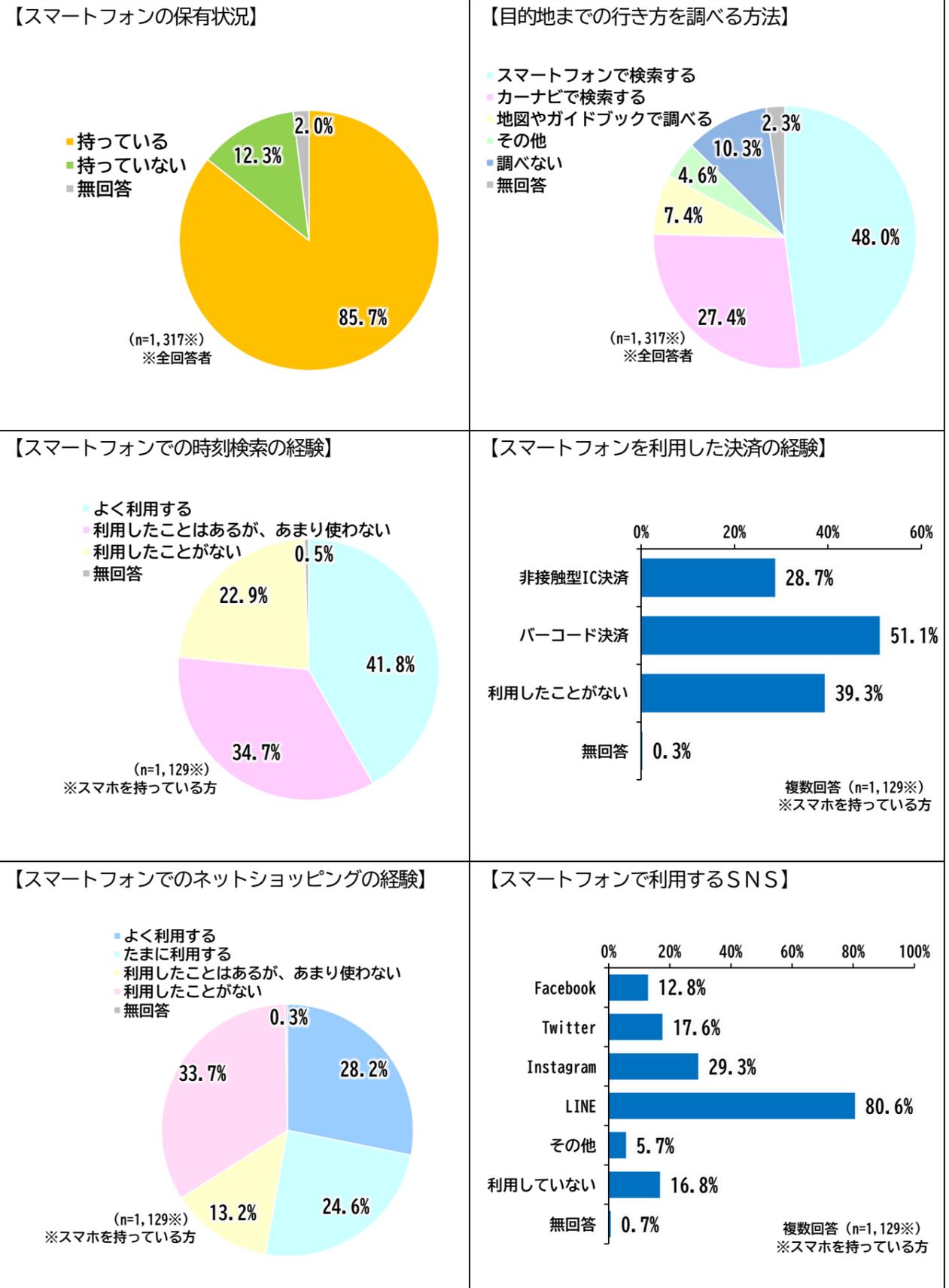


⑦ 道路の混雑状況

・宇美町内の道路は、**県道 60 号（飯塚大野城線）** 以外は混雑度 1.00 を超えている状況にある。特に、古賀市から粕屋町、須恵町、宇美町を経由し、太宰府市、筑紫野市へとつながる**県道 35 号（筑紫野古賀線）**は混雑度 1.50 以上と非常に混雑した状況にある。



【参考】スマートフォンの利用状況 住民アンケート結果（R4.10 実施）

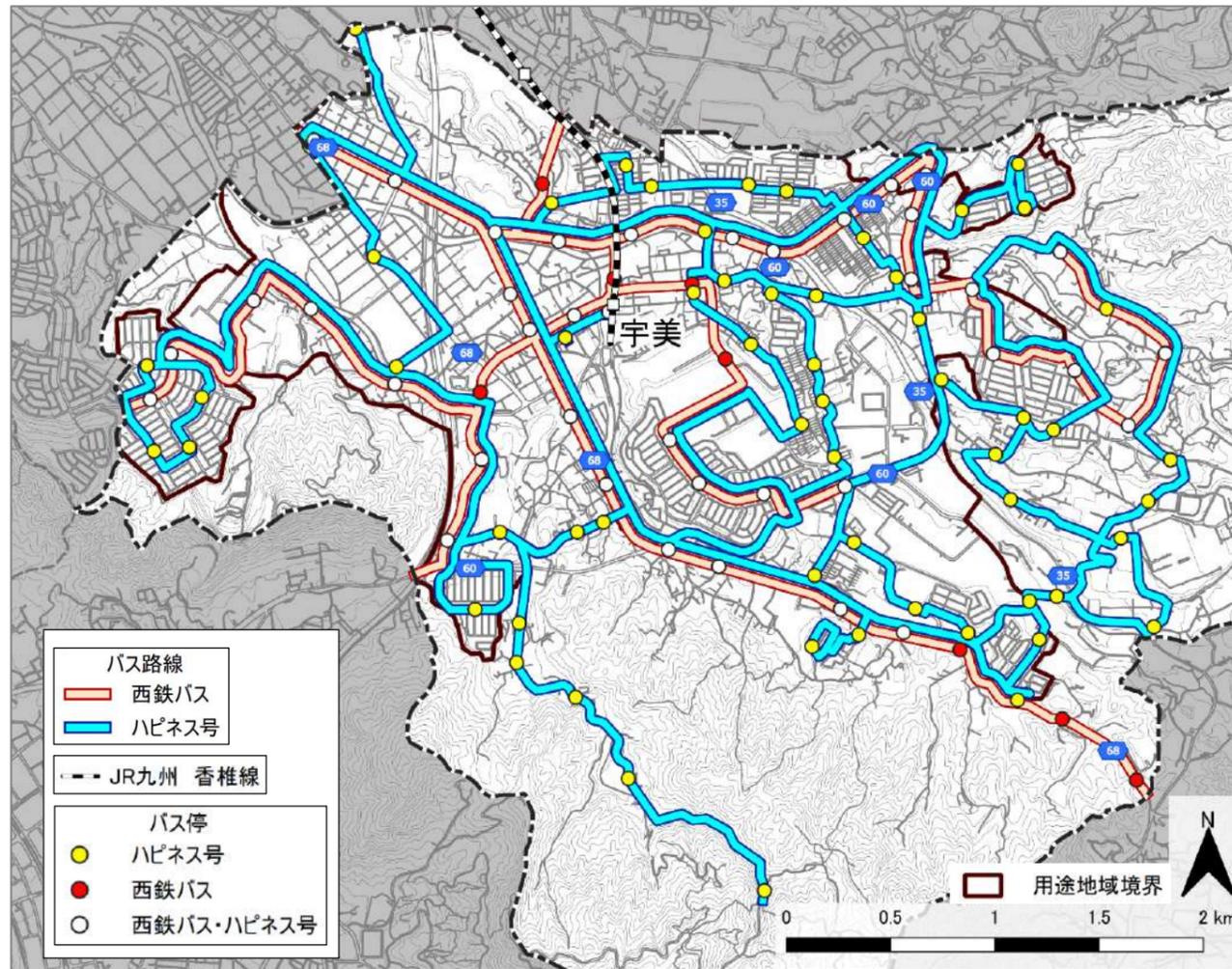


8-3 公共交通の現状

① 公共交通ネットワーク

・宇美町内には、JR香椎線、路線バス、福祉バスがあり、町内の公共交通ネットワークを形成している。

■町内の公共交通ネットワーク



② 地域の輸送サービス

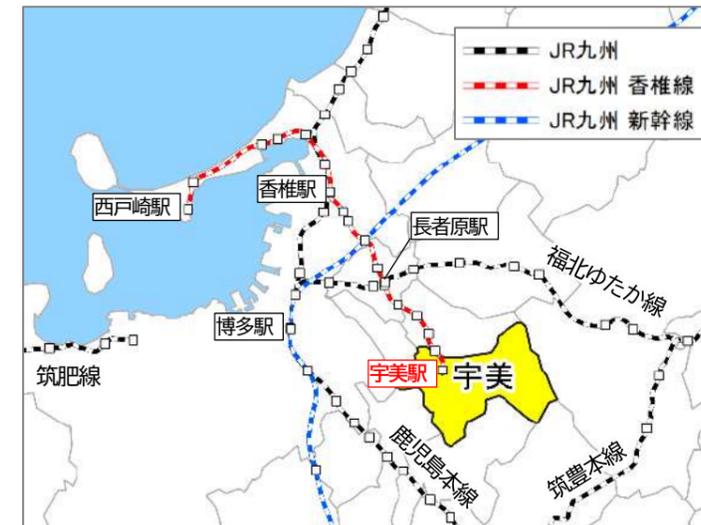
施設	内容	
河野粕屋病院	送迎バス	5 便/日(事前の電話予約必要)
粕屋南病院	無料シャトルバス	宇美・須恵方面(平日:10 便/日)、日祝:6 便/日) 炭焼方面(平日のみ:3 便/日)
スマイルサポートゆるり	通院等乗降介助	99 円/回 ※実施地域以外でのサービスは、事業所から片道 30 km未満は無料、30km 以上は 250 円
ターニーホーム	送迎と付き添い	無料
障がい者多機能型事業所のぞみ工房	送迎	

その他 複数の「通所型介護事業所」において、送迎車両を保有しており、利用者の送迎サービスを実施。

③ 鉄道 (JR香椎線)

■運行状況・利用状況

- ・JR香椎線は、福岡市の西戸崎駅から香椎駅を経て宇美駅まで延びる路線であり、糟屋郡地域と福岡市内を結ぶ地域輸送路線となっている。
- ・宇美町内には、起終点駅となるJR宇美駅が立地している。
- ・なお、博多方面に行くには、JR長者原駅で福北ゆたか線への乗り継ぎが必要となるが、乗り継ぎ状況は、概ね10分程度の待ち時間で接続となっている。



【宇美駅・JR香椎線の一日あたりの乗車客数の推移】



資料:JR九州駅別乗車人員上位300駅(2018年度~2021年度)

■JR香椎線 宇美駅時間帯別運行本数 (平日・休日共通)

■上り		種別	時間帯別運行本数																					計
起点	終点		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23			
宇美	香椎	普通	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	2	3	3	2	1	39	
	西戸崎	普通	2	2	1																		5	
運行本数計			1	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	2	3	3	2	1	44	
■下り		種別	時間帯別運行本数																					計
起点	終点		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23			
西戸崎	宇美	普通	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
		普通	3	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	2	3	1	2	45	
運行本数計			3	3	3	4	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	2	3	1	2	48		

※ 令和4年11月1日時点

■宇美駅からの運賃

区間	在来線 (普通乗車券)	備考
宇美→長者原	230	
宇美→香椎	280	
宇美→博多	280	長者原駅より福北ゆたか線に乗り換え

■長者原駅での乗り換え

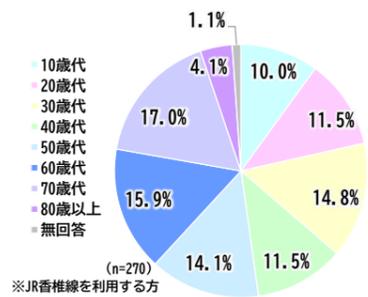
区間	
宇美 → 長者原 → 博多	10分程度の待ち時間で接続
博多 → 長者原 → 宇美	※一部、20分以上の待ち時間あり(5時台と10時台)

■ JR香椎線の利用者特性（町民のみ）

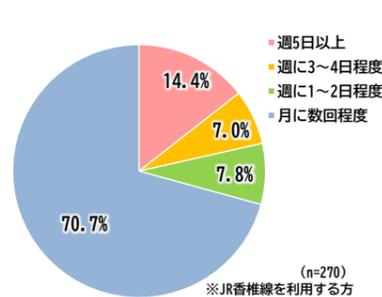
※住民アンケートより JR香椎線利用者：270人の回答

- ・JR香椎線は、町民の20%が利用している。
- ・利用者の年齢層は10代から70代まで全ての年代でみられ、年齢を問わず利用されている。
- ・利用頻度は、70%が「月に数回程度」と利用頻度は少ない人が大半を占める。毎日（「週5日以上」）や「週に3~4日程度」などの高頻度利用層は21%を占める。
- ・目的の駅は、「博多駅・吉塚駅」が最も多く（52%）、次いで粕屋町の「酒殿駅・長者原駅・伊賀駅」が21%、福岡市の「土井駅・舞松原駅・香椎神宮駅・香椎駅」が14%となっている。
- ・利用時の外出目的は、「買物・飲食」（31%）、「通勤・通学」（26%）、「趣味・習い事・娯楽などの私用」（20%）が多い。
- ・利用回数が増やせるサービス改善について、「増便」（37%）や「駅までのバスの充実」（21%）が多くあげられている。

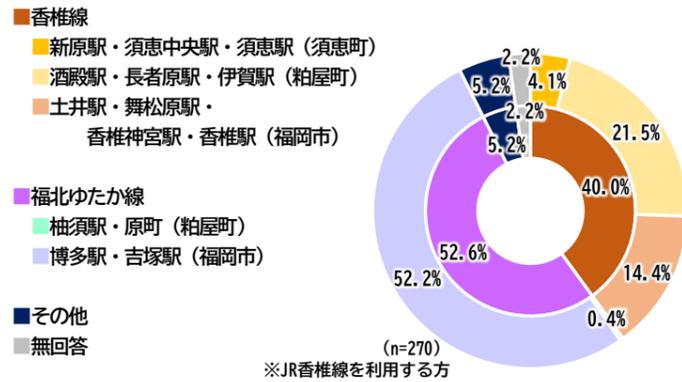
【年齢】



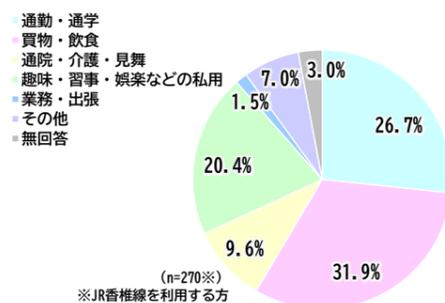
【利用頻度】



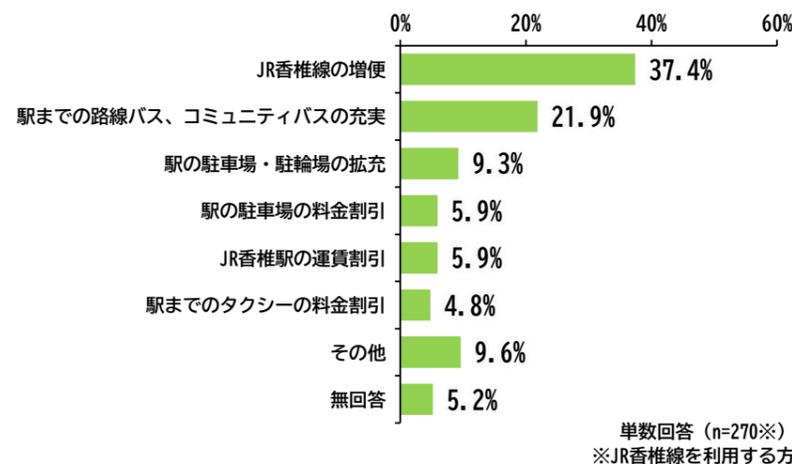
【目的地となる町外の駅】



【主な外出目的】



【どんなサービスが図られたら利用回数を増やせるか】

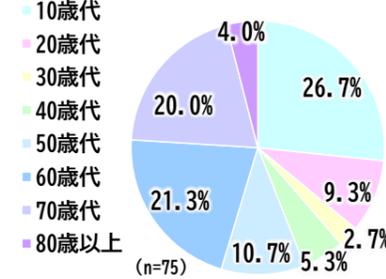


■ JR宇美駅の利用者特性（町民および他市町民を含む）

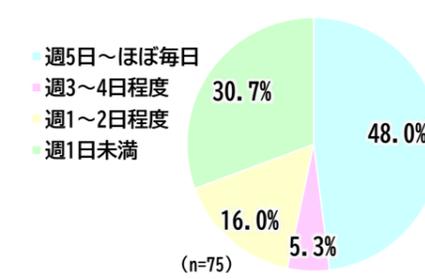
※駅利用者ヒアリングより JR宇美駅利用者：75人の回答

- ・利用者の属性からは、10歳代の高校生が通学目的で週5日~ほぼ毎日利用していることがみてとれる。駅へのアクセス手段は、徒歩・自転車が多くの割合を占めている。
- ・また、60歳以上の高齢者の利用も多くみられる（45.3%）。
- ・町外の目的地で多いのは、福岡市（18.7%）、須恵町（9.3%）、粕屋町（8.0%）である。

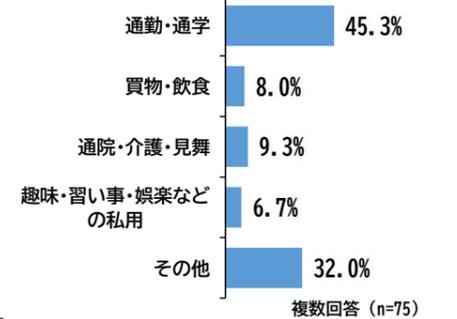
【年齢】



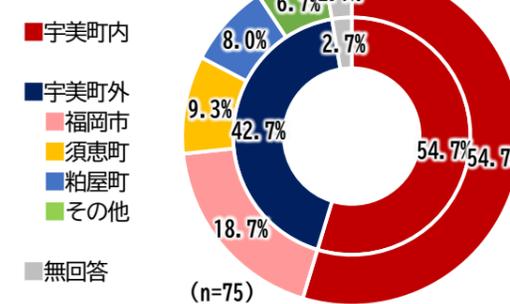
【利用頻度】



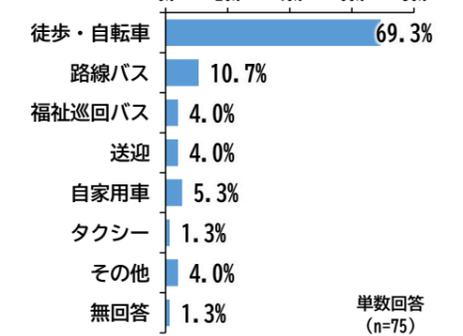
【外出目的】



【本日の目的地】



【駅へのアクセス手段】



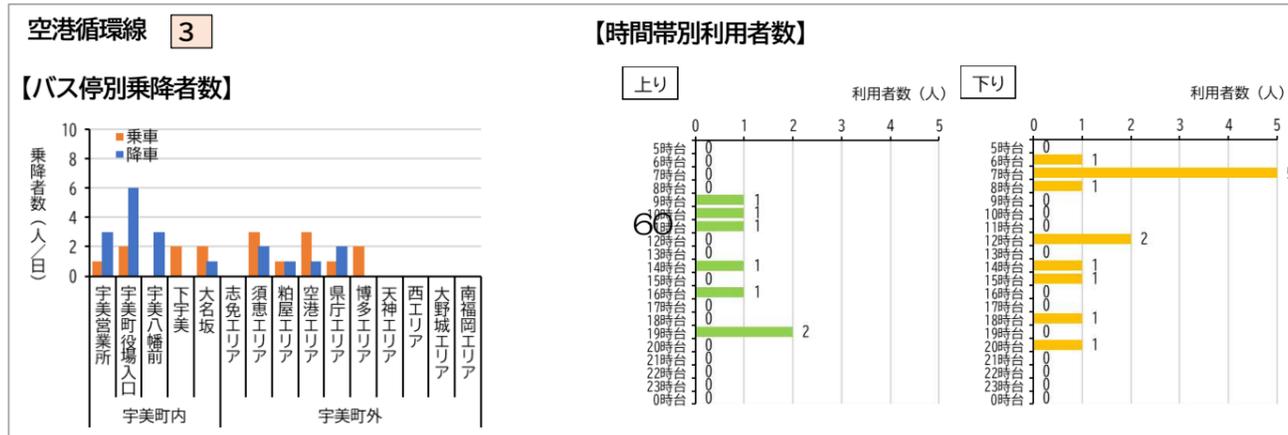
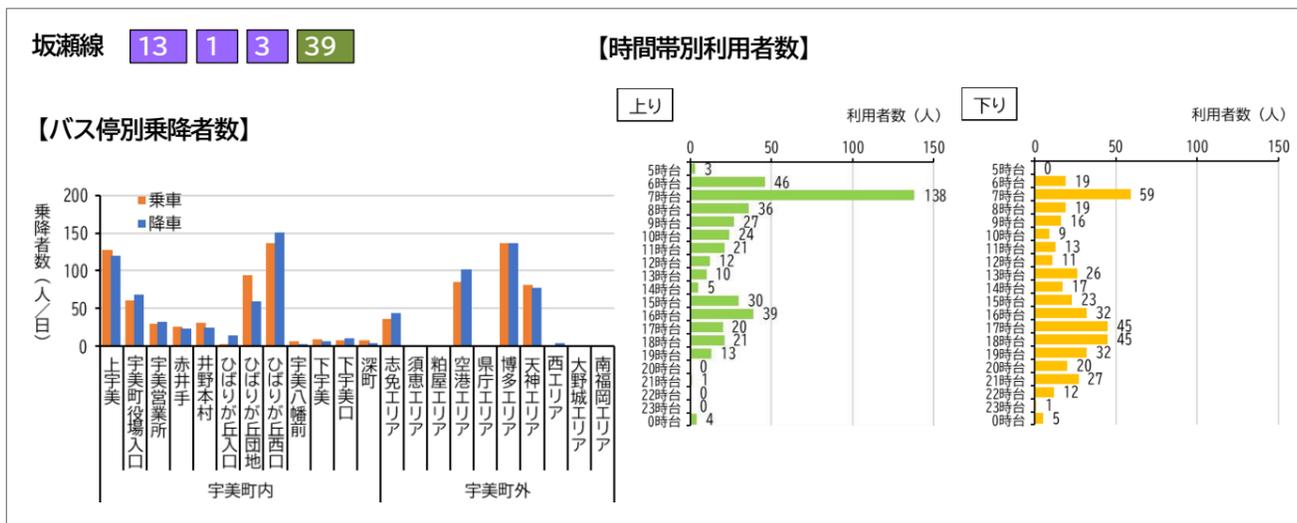
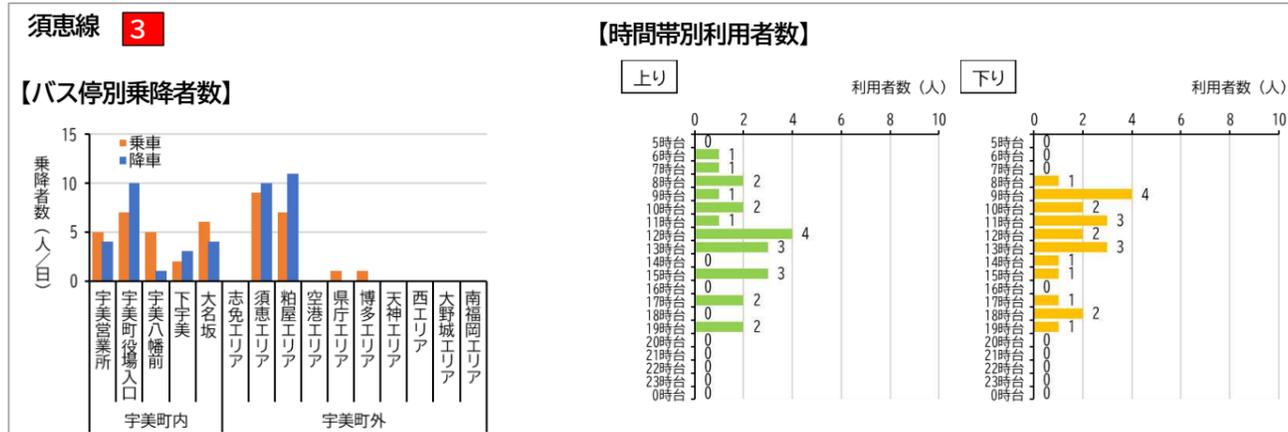
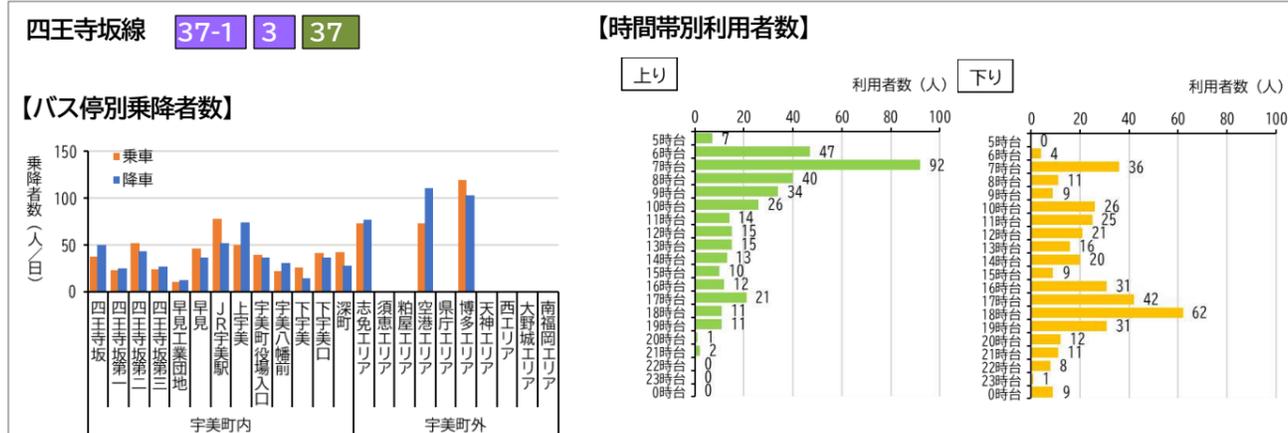
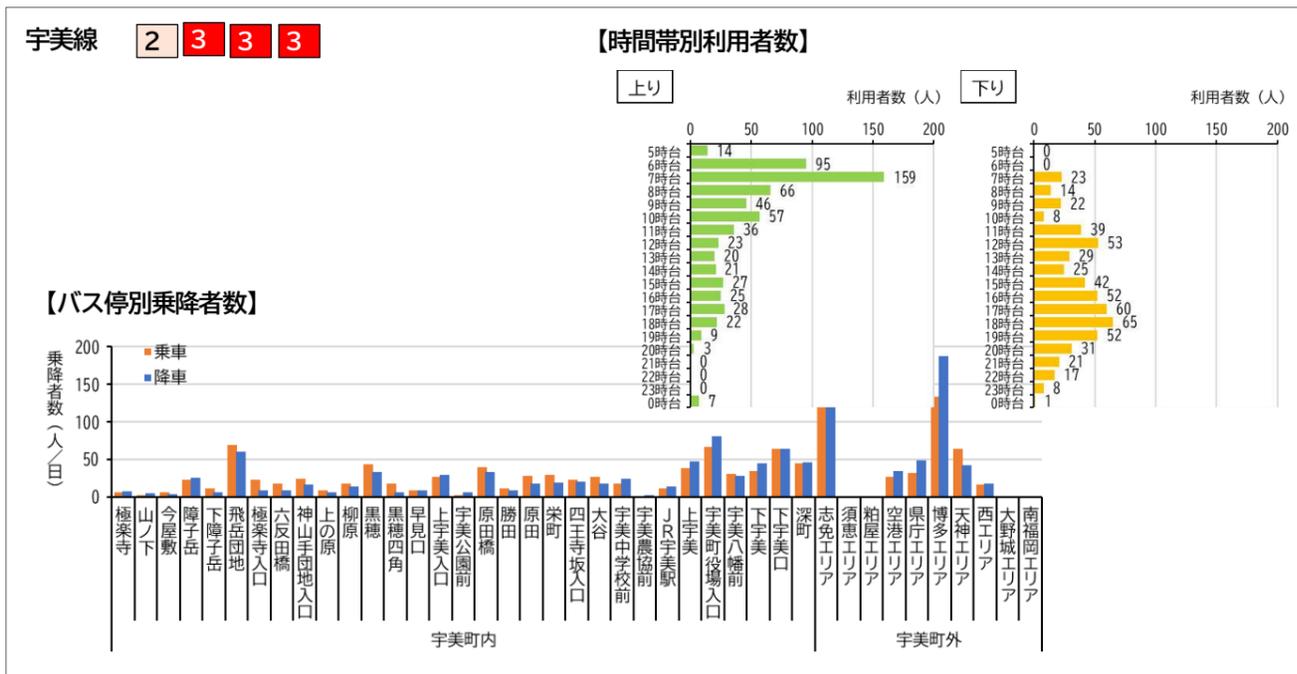
■利用状況

- ・宇美線 (2、32、33、34) は、飛岳団地バス停や宇美町役場入口バス停、下宇美口バス停、志免エリア、博多エリアでの乗降が多い。上りは6~10時台の利用が多く、7時台が突出している。午後も20~30人の利用がある。下りは12時台、15~20時台の利用が多く、17~18時台がピークを迎える。
- ・坂瀬線 (139、1、39、390) は、上宇美バス停、ひばりが丘西口バス停、ひばりが丘団地バス停、空港エリア、博多エリアでの乗降が多い。上りは6~8時台が多く、7時台が突出している。午後も15~16時台の利用が多い。下りは17~18時台が多く、朝の7時台も多い。

- ・四王寺坂線 (37-1、37、370) は、四王寺坂団地内各バス停、JR宇美駅バス停、上宇美バス停、志免エリア、空港エリア、博多エリアでの乗降が多い。上りは6~9時台が多く、7時台が突出している。午後は10人程度と少ない。下りは16~19時台が多く、18時台がピークとなっている。午前中の利用も多く、朝の7時台や10~11時台も多い。
- ・須恵線 (36) は、宇美線、坂瀬線、四王寺坂線に比べ、利用者数が少ない。そうした中で、宇美町役場入口バス停、須恵エリア、粕屋エリアでの乗降が多くみられる。利用時間帯は、日中の時間帯の利用がみられる。
- ・空港循環線 (3) も、宇美線、坂瀬線、四王寺坂線に比べ、利用者数が少ない。

■令和4年10月5日(水)にnimocaカードで運賃清算したバス利用者の状況

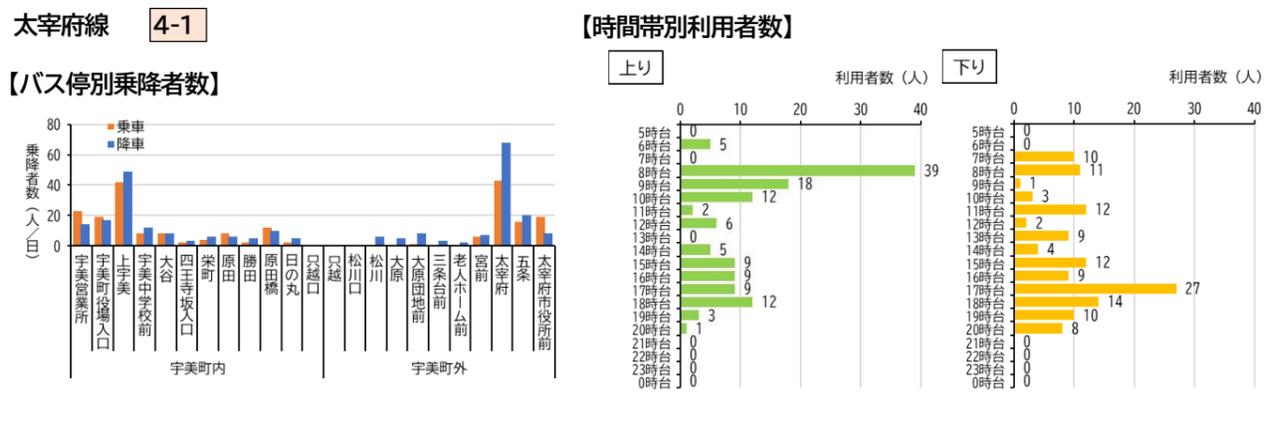
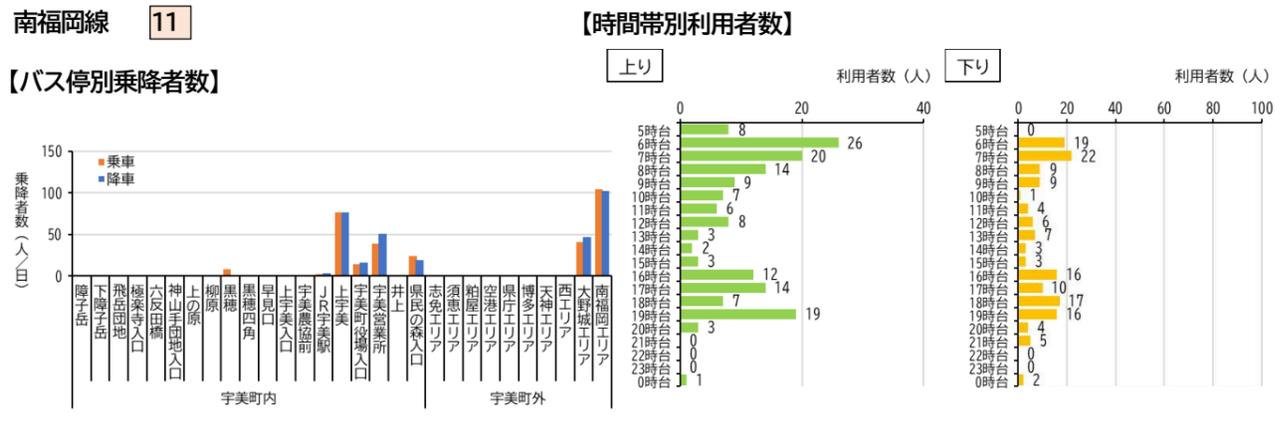
※宇美町内のバス停で乗降した方のみ



資料:西日本鉄道株式会社提供資料

・南福岡線 (11) は、上宇美バス停、宇美営業所バス停、南福岡エリア、大野城エリアでの乗降が多い。上りは6~8時台が多く、6時台が最も多い。夕方16~19時台の利用も多い。下りも同様に、6~7時台、16~19時台の利用が多い。

・太宰府線 (4-1) は、宇美町内は宇美営業所バス停、宇美町役場入口バス停、上宇美バス停での乗降が多く、太宰府市内では太宰府バス停、五条バス停、太宰府市役所前バス停での乗降が多い。上りは8時台が圧倒的に多く9~10時台までの利用が多い。下りは17~19時台の利用が多い。



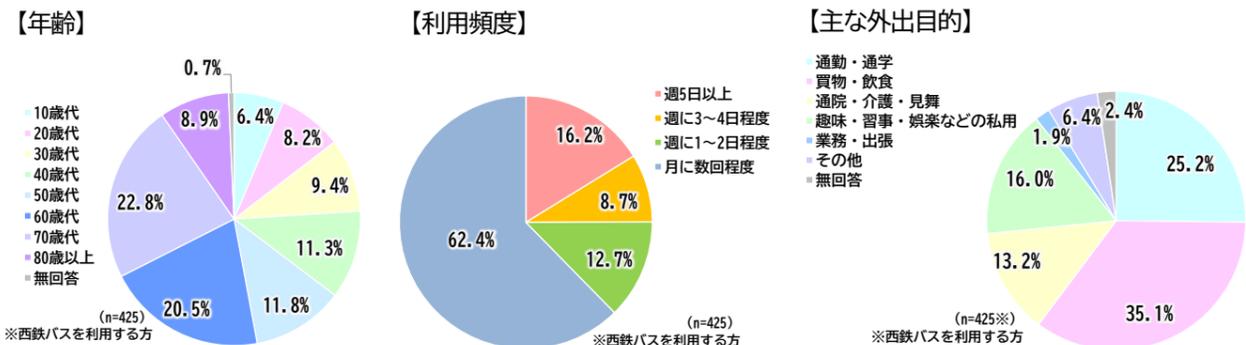
資料:西日本鉄道株式会社提供資料

西鉄バスの利用者特性 (町民のみ)

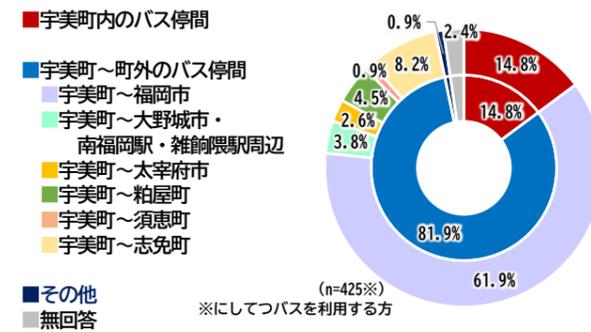
※住民アンケートより 西鉄バス利用者:425人の回答)

・西鉄バスは、町民の32%が利用している。利用者の年齢層は10代から70代まで全ての年代で見られる中、60歳代、70歳代の割合が高い。利用頻度は、62%が「月に数回程度」と利用頻度は少ない人が多い。毎日(「週5日以上」)や「週に3~4日程度」などの高頻度利用層は24%を占める。利用区間は、町外への移動が82%を志免、中でも福岡市への移動が61%となっている。利用時の外出目的は、「買物・飲食」(35%)、「通勤・通学」(25%)、「趣味・習い事・娯楽などの私用」(16%)が多い。

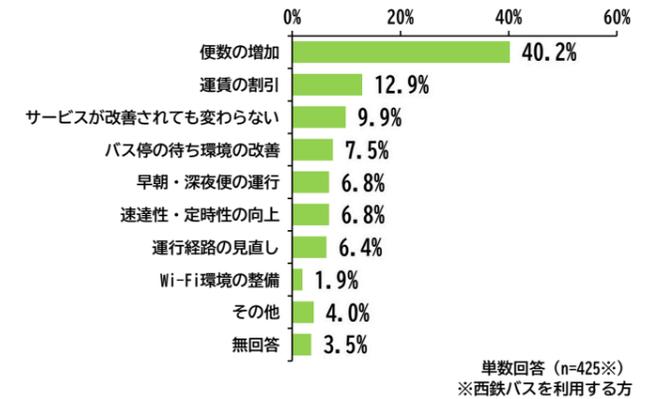
・利用回数が増やせるサービス改善について、「増便」(40%)が最も多く挙げられている。



【最もよく利用するバス停】



【どんなサービスが図られたら利用回数を増やせるか】



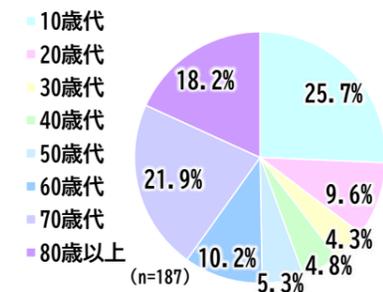
西鉄バス利用者特性 (町民および他市町民を含む) ※主要バス利用者ヒアリングより 西鉄バス利用者:187人の回答

・利用者の属性からは、10歳代の高校生が通学目的で週5日~ほぼ毎日利用していることがみてとれる。駅へのアクセス手段は、徒歩・自転車が多くを占めている。

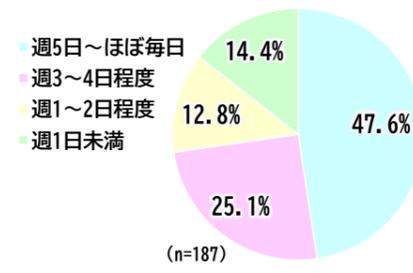
・また、60歳以上の高齢者の利用も多く(45.3%)みられる。

・町外の目的地で多いのは、福岡市(18.7%)、須恵町(9.3%)、粕屋町(8.0%)である。

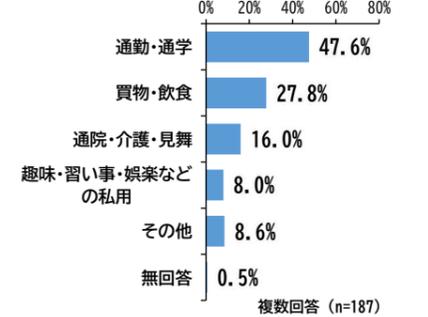
【年齢】



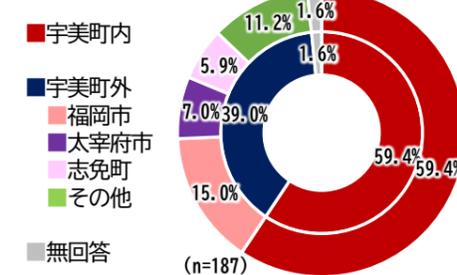
【利用頻度】



【外出目的】



【本日の目的地】



■宇美町内_ 具体的な行先 (指摘数5人以上)

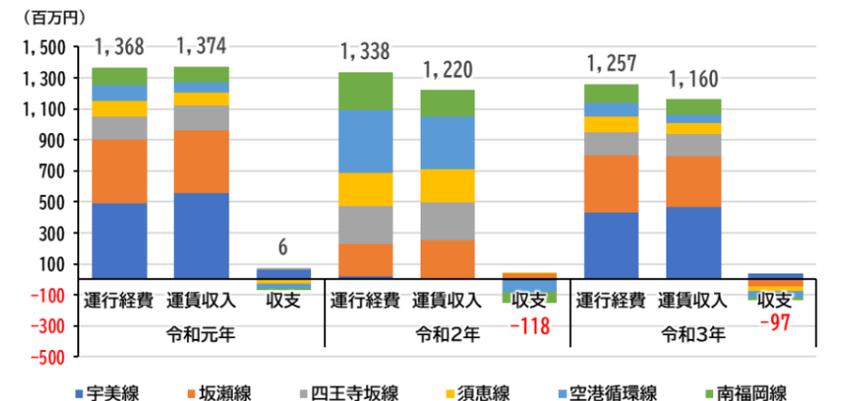
- ・にしてつストア宇美店 (32人)
- ・宇美中学校 (18人)
- ・宇美商業高校 (7人)
- ・岡部病院 (5人)
- ・職場 (宇美駅近く)

運営状況

・町内を運行する路線バスの運行経費は、運行キロの減少に伴って徐々に減っており、令和3年時点で12.6億円となっている。運賃収入は新型コロナウイルスの影響を受け、令和2年に大きく減少している。令和3年はさらに減少し、11.6億円となっている。

・収支額は令和2年より赤字運営となっており、令和3年時点で9,700万円の赤字、収支率92%となっている。

【運行経費、運賃収入、収支】



※運行経費は、地域間幹線系統補助単価(北九州ブロック)を用いて算出

■現状の課題等（交通事業者ヒアリングより）

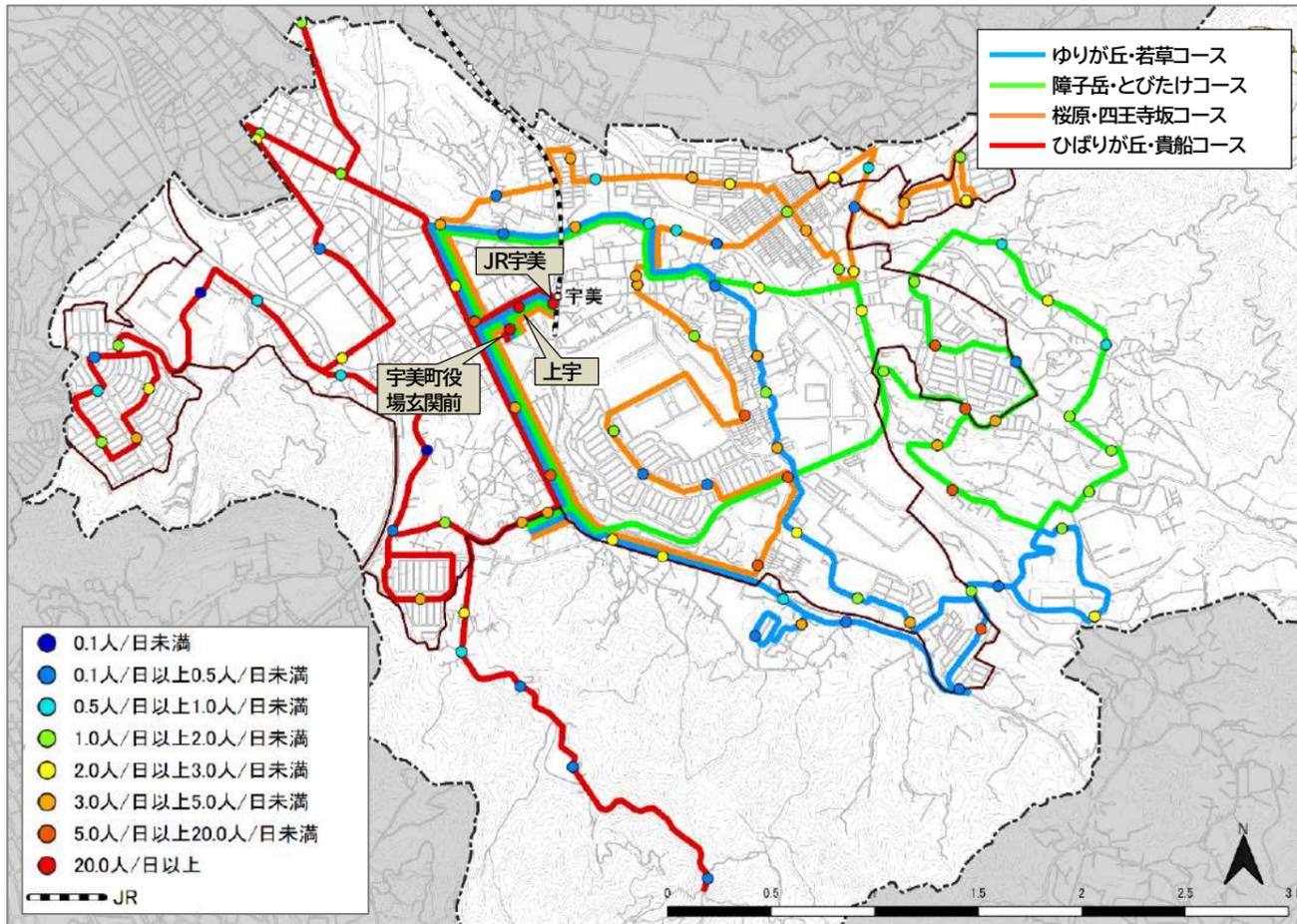
- ・人口減少による総パイが減っている中、新型コロナの影響（外出控え、テレワークの普及）を受け、さらに利用者が大きく減少し、営業が非常に厳しい。特に、須恵線や南福岡線の利用が少ない。
- ・乗務員不足が深刻化していて、黒字運行の路線でも現状のサービス水準の維持が困難になってきている。
- ・坂瀬線のサービス調整、オンデマンドバスの導入後の状況をみながら、全体的な交通サービスのあり方を検討していく必要がある。

⑤ 福祉巡回バス「ハピネス号」

■運行状況・利用状況

- ・バス停別の1日平均利用者数をみると、4路線すべてが停まる「宇美駅バス停」が65.33人と最も多くなっている。次いで、「上宇美バス停」（45.23人）、「宇美町役場玄関前バス停」（24.71人）となっている。
- ・年間利用者数は、平成29年度以降減少傾向にあり、令和元年度は64,315人であった。令和2年度は新型コロナの影響もあり、44,825人（前年からマイナス18,482人）まで減少したが、令和3年度はやや回復し52,789人となっている。

【ハピネス号バス停別1日あたりの平均利用者数】

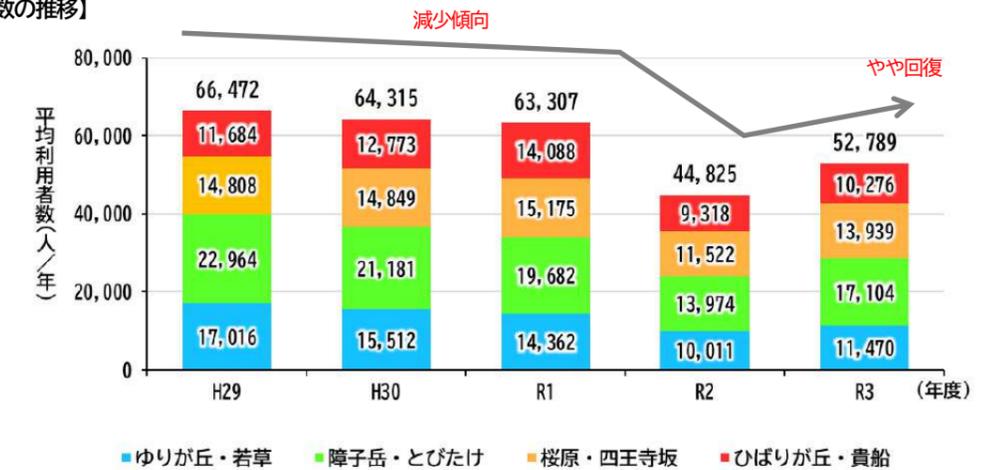


■福祉巡回バス「ハピネス号」コース一覧 運行曜日：月～土 運賃：無料

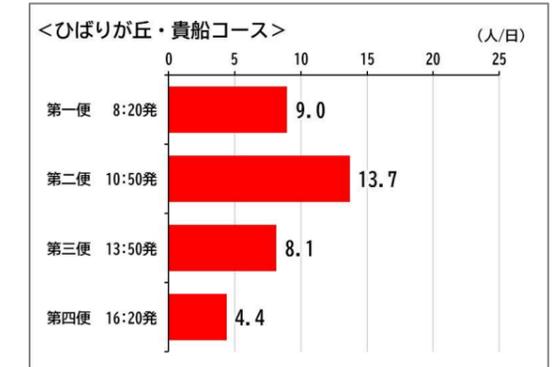
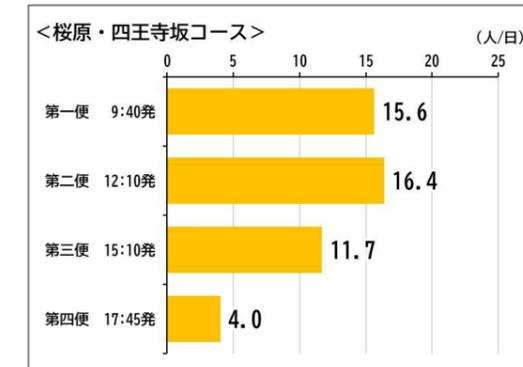
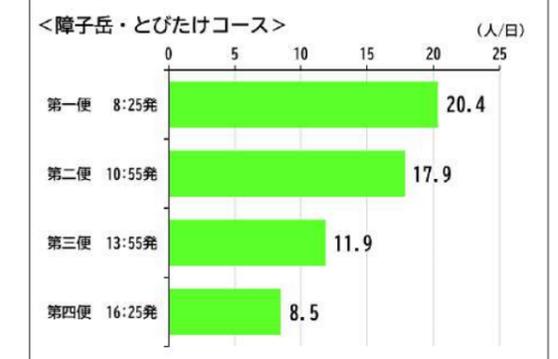
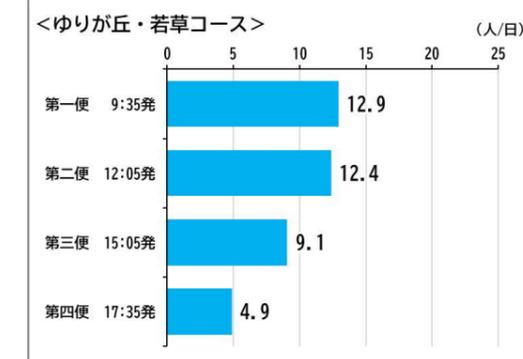
路線	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	運行本数(便/日)	基準バス停
1 ゆりが丘・若草コース			1		1			1			1	4	ゆりが丘入口
2 障子岳・とびたけコース	1			1			1		1			4	障子岳
3 桜原・四王寺坂コース		1			1			1			1	4	桜原小学校前
4 ひばりが丘・貴船コース	1			1			1			1		4	ひばりが丘1

※ 令和4年11月時点

【年間利用者数の推移】



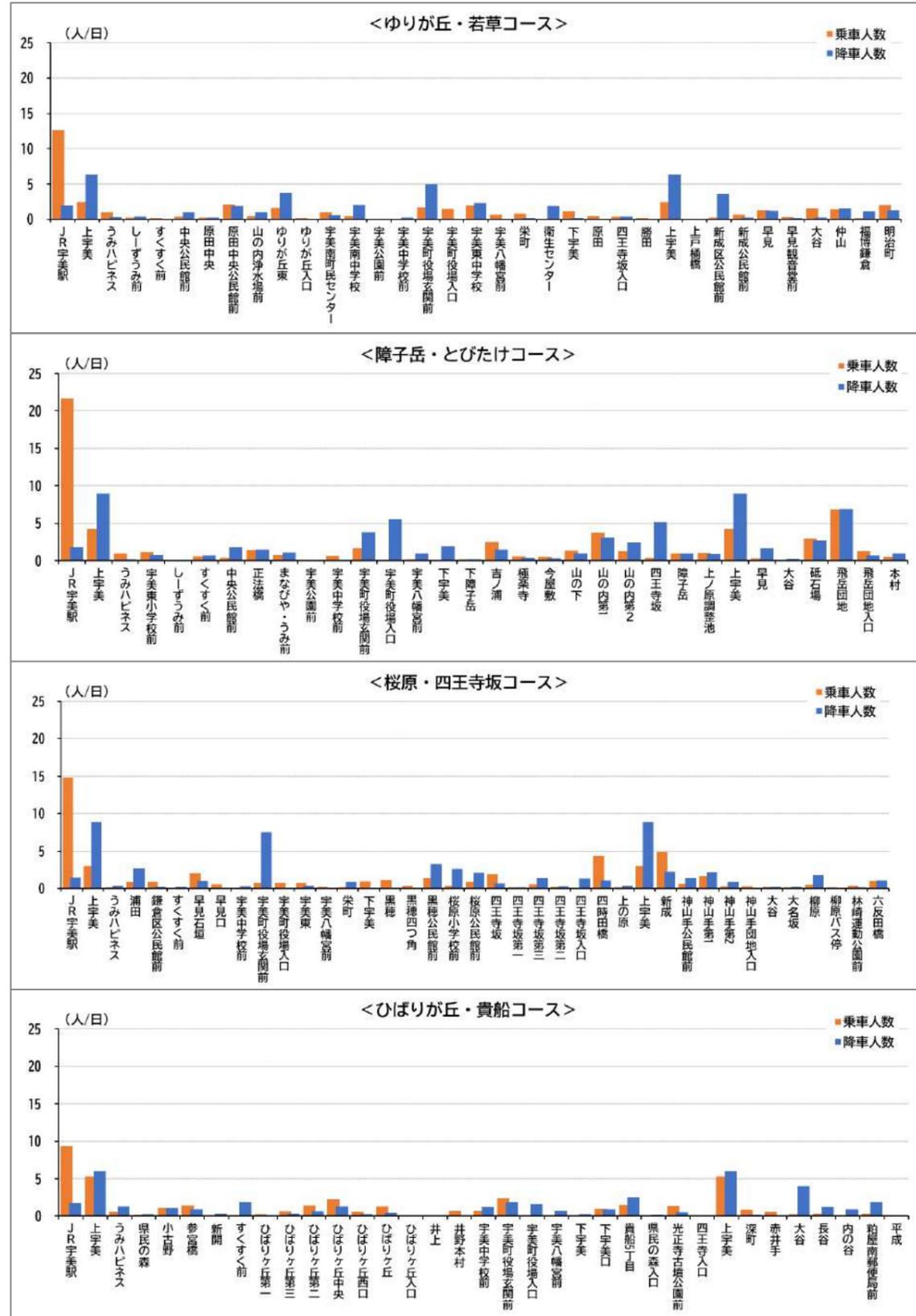
【ルート別便別平均乗車人数】



<算定の考え方>

平均乗車人数=年間総乗車人数/年間運行日数 対象期間：R2年度（4/1～3/31）

【ルート別バス停別の平均乗降者数】



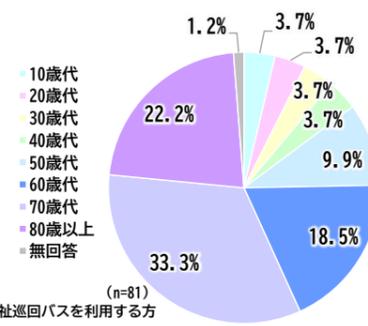
<算定の考え方>

平均乗車(降車)人数=年間総乗車(降車)人数/年間運行日数 対象期間: R2年度(4/1~3/31)

■福祉巡回バス「ハピネス号」の利用者特性(町民のみ)

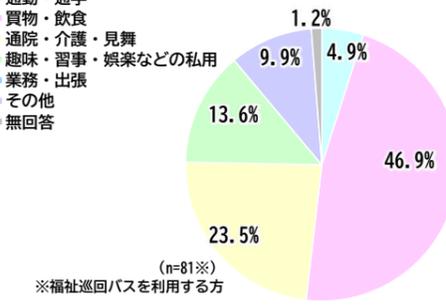
※住民アンケートより 利用者: 81人の回答)

【年齢】

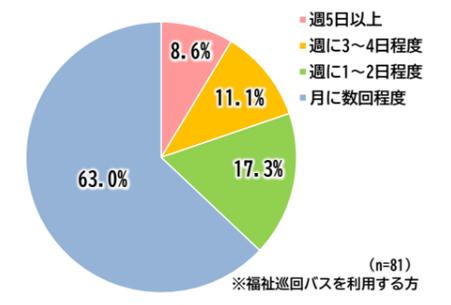


【主な外出目的】

- 通勤・通学
- 買物・飲食
- 通院・介護・見舞
- 趣味・習事・娯楽などの私用
- 業務・出張
- その他
- 無回答



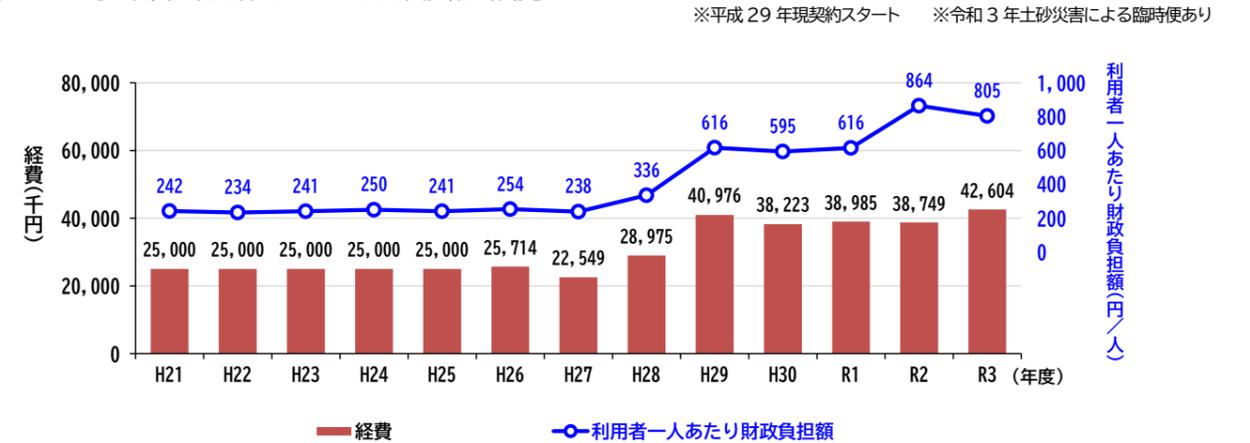
【利用頻度】



■運営状況

・ハピネス号の運行経費は徐々に上がってきており、令和3年度時点で4,260万円となっている。利用者一人当たりの財政負担額は、令和3年度時点で805円/人となっている。

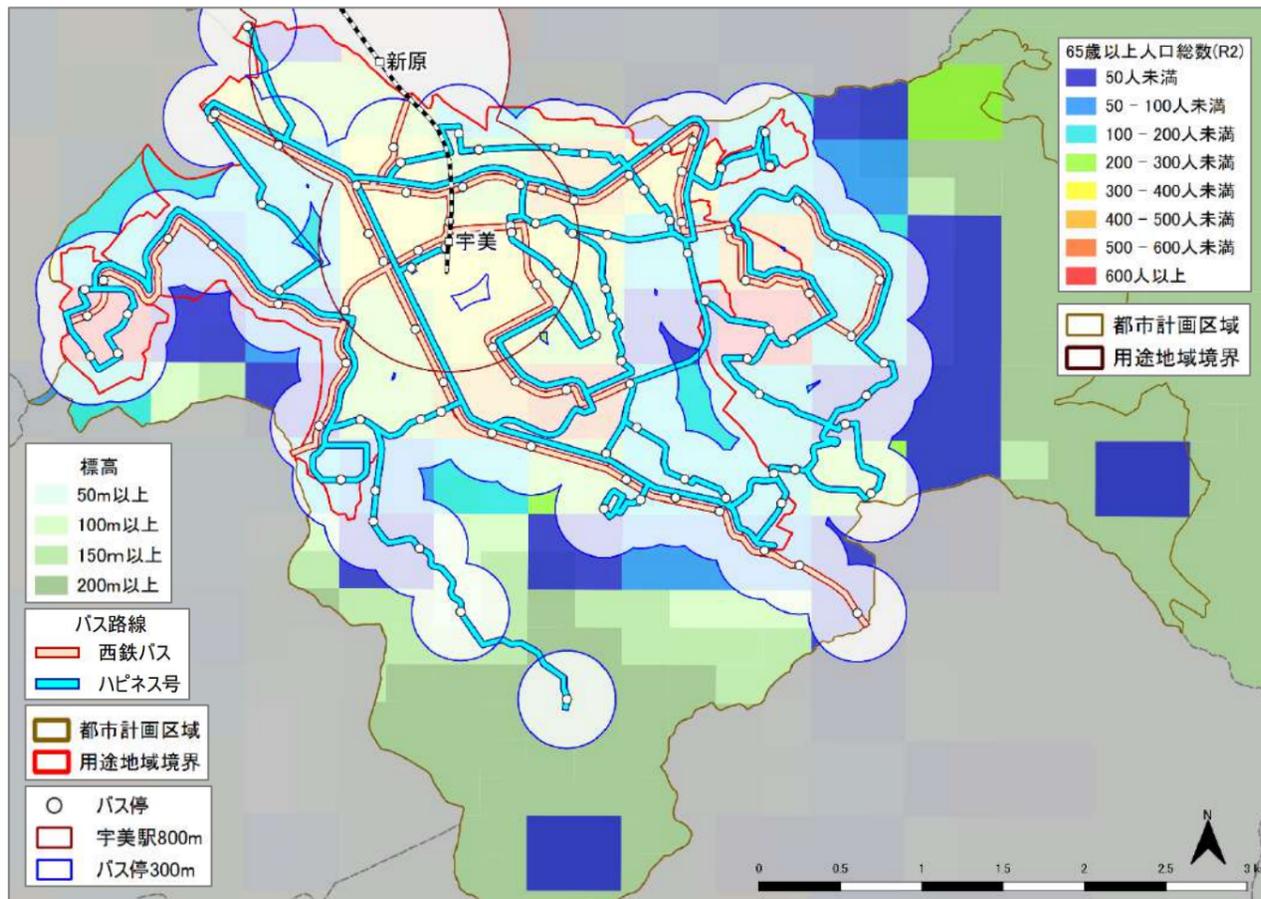
【ハピネス号の経費と利用者一人あたり財政負担額の推移】



⑥ 公共交通サービス提供状況

■公共交通空白地域

- ・町営バスのバス停から半径 300m 圏域外の居住エリアとなる公共交通空白地域は、主に町の東部、南部などに存在している。
- ・当該エリアの人口は約 3,100 人と試算され、町全体人口の約 8%を占めている。
- ・また、65 歳以上の人口割合では約 9%、75 歳以上の人口割合でも同様に約 9%を占めている。

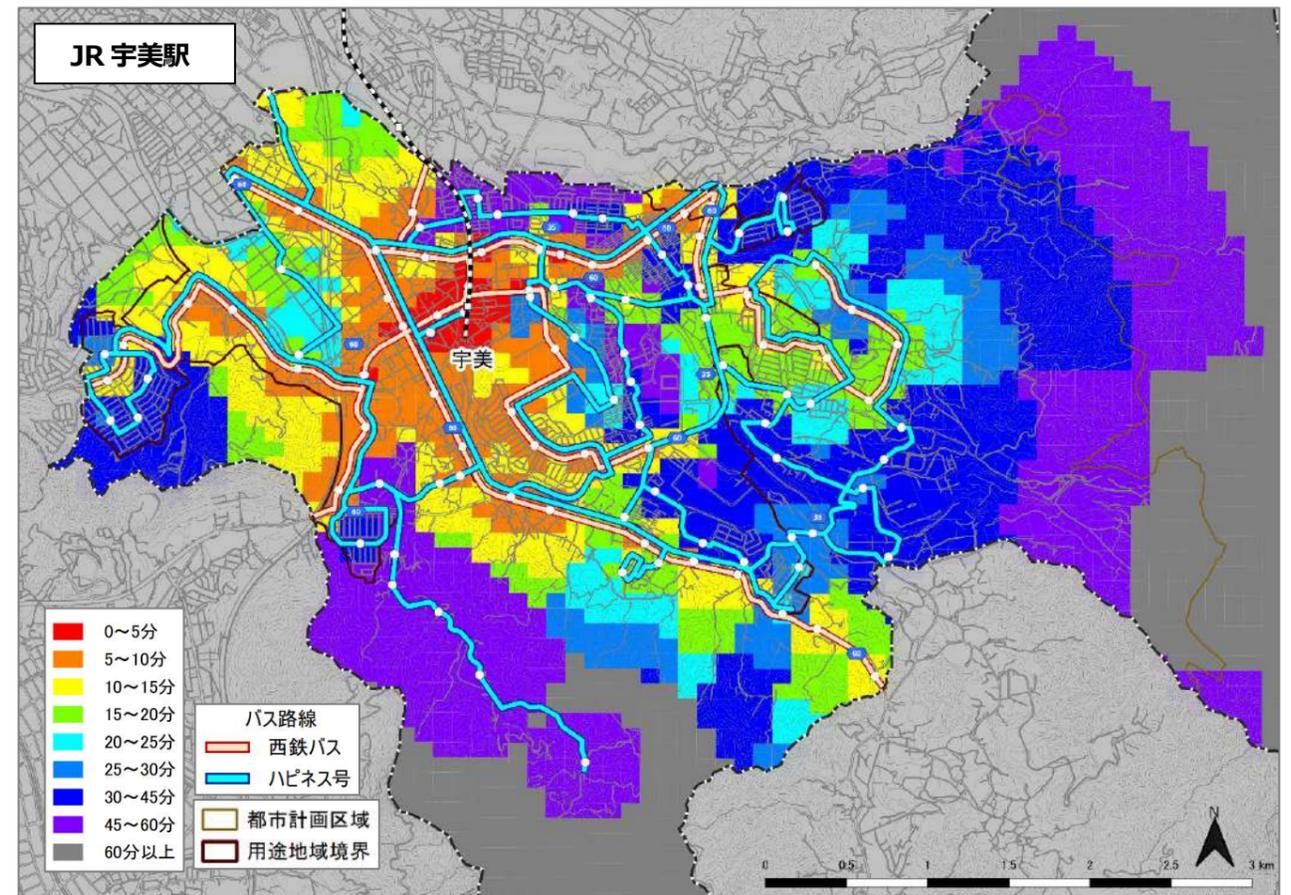


	公共交通空白地域		町全体	
全年齢	3,111 人	8.3%	37,671 人	100.0%
65 歳以上	925 人	8.9%	6,105 人	100.0%
75 歳以上	379 人	8.8%	4,303 人	100.0%

※公共交通空白地域の人口は GIS 上で算出、町域全体人口は R 2 国勢調査

■アクセシビリティ評価（JR宇美駅まで公共交通を利用した場合の所要時間）

- ・JR宇美駅までのアクセス環境をみると、路線バスの沿線は概ね 20 分以内でアクセスができて良好である。一方で、福祉巡回バス「ハピネス号」のみが運行している地域は、運行本数の少なさから乗車機会が少なく、20 分以上となっており、特にゆりが丘や神山手、貴船ガーデンでは 30 分以上がみられるほか、町北部や南部では 45 分以上要する地域がある。
- ・総じて、市街地の大部分は、宇美駅まで 15 分以内でアクセスできる環境にあり、一定水準のサービスが確保されている状況にある。ただし、山手の地域では、駅までのアクセスに 30~45 分以上かかる地域もあり、地域間でアクセシビリティの差がみられる。



アクセシビリティ評価の定義

徒歩または公共交通利用による都市生活の利便性を計量するもの

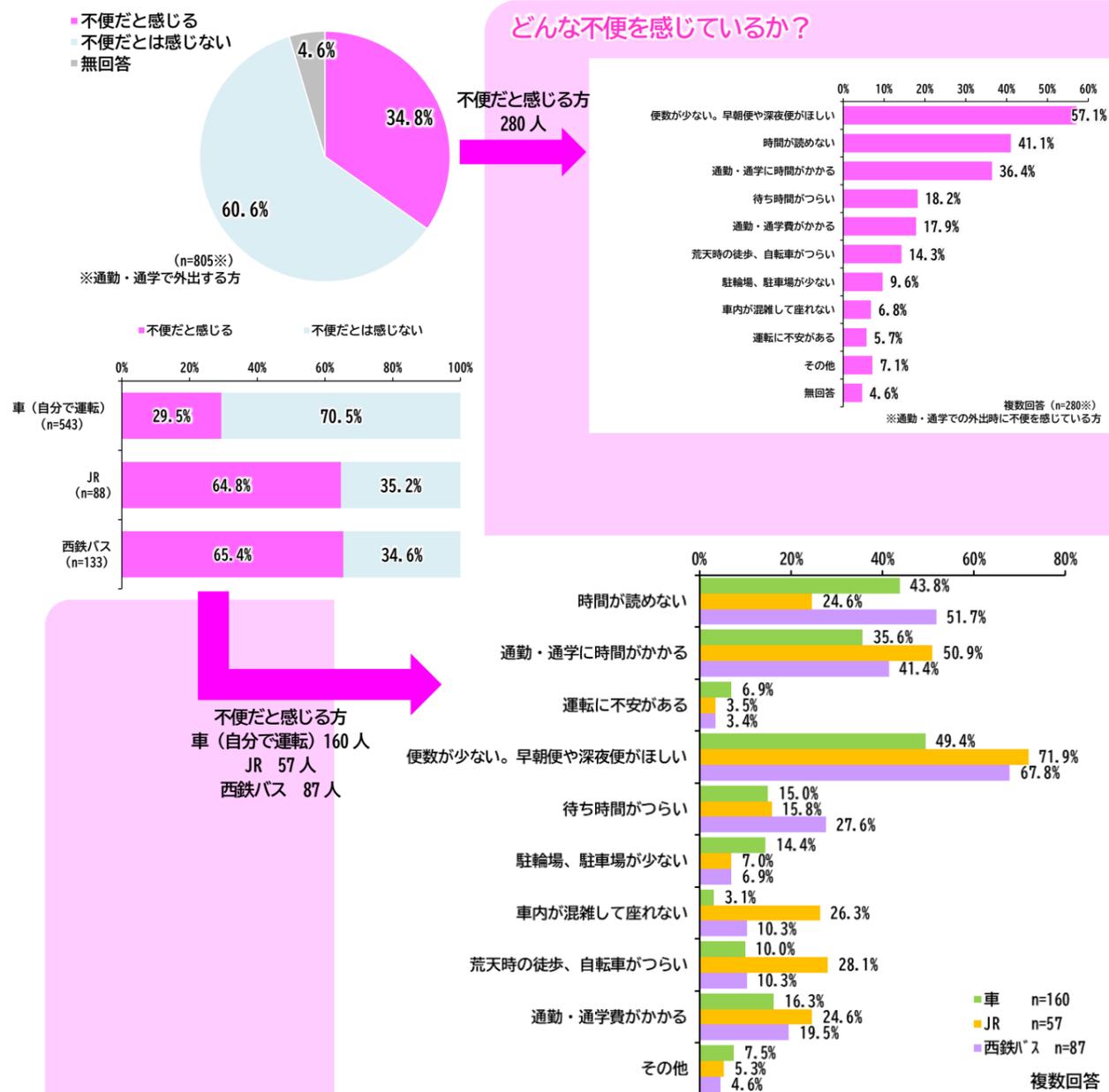
$$\Rightarrow \begin{matrix} \text{徒歩の} \\ \text{所要時間} \\ \text{(分)} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{公共交通の} \\ \text{移動時間} \\ \text{(分)} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{公共交通の運行頻度の多少を} \\ \text{反映した所要時間の期待値} \\ \text{(分)} \end{matrix}$$

8-4 町民の移動&公共交通への意識

① 移動に関する困りごと (住民アンケートより)

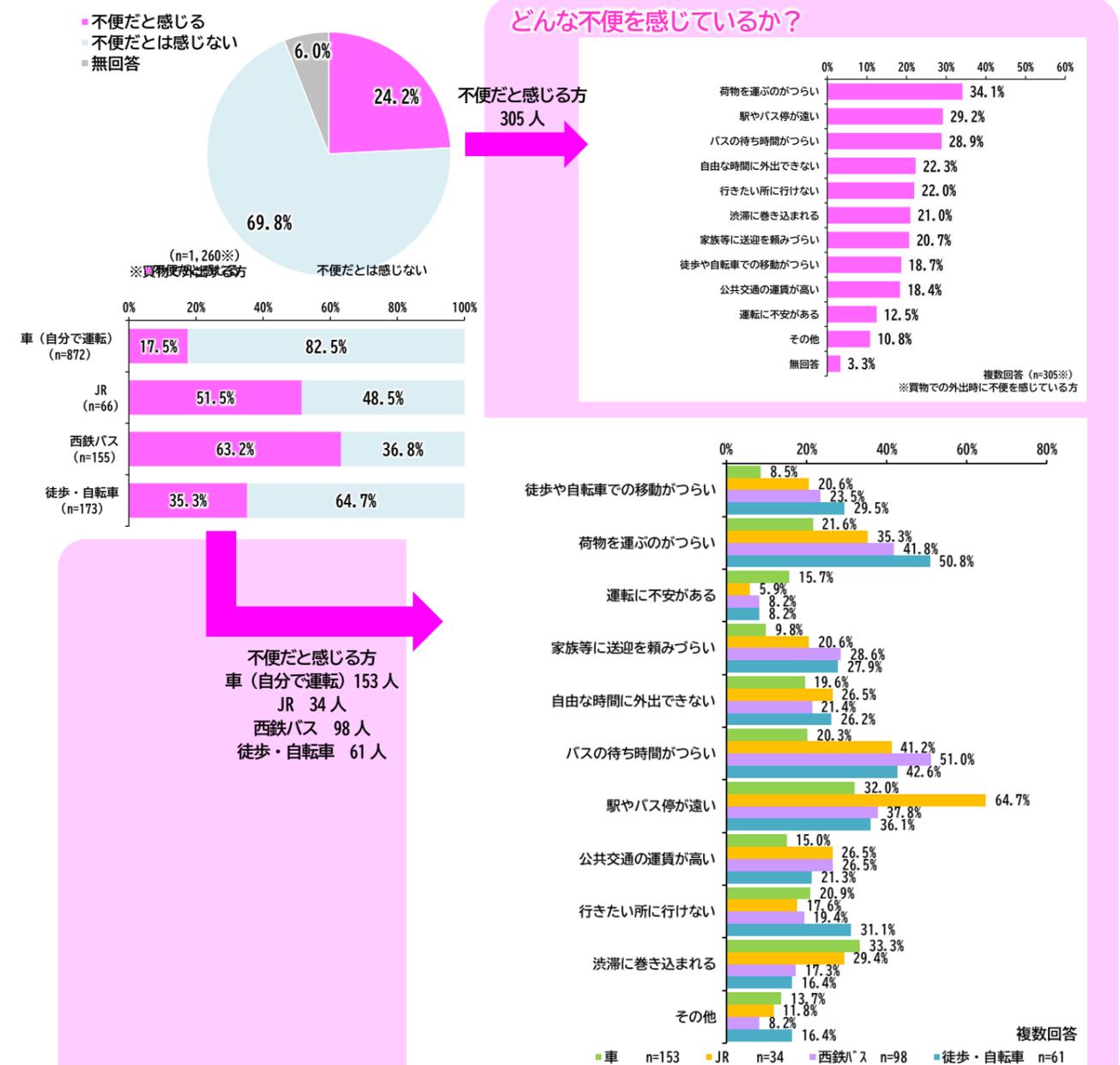
■通勤・通学に関する困りごと

- 通勤・通学時の移動に対しては、34%が不便さを感じている。交通手段別にみると、車（自分で運転）を利用している人は29%、JR利用者は64%、西鉄バス利用者は65%と、公共交通利用者は6割強が不便さを感じている。
- その内容は、JR利用者、西鉄バス利用者ともに、「便数が少ない。早朝便や深夜便がほしい」が突出して高く（各71%、67%が指摘）、その他には、JR利用者は「通勤・通学に時間がかかる」（50%）、西鉄バス利用者は「時間が読めない」（51%）、「通勤・通学に時間がかかる」（41%）が多く、指摘されている。
- 車（自分で運転）利用者も、「便数が少ない。早朝便や深夜便がほしい」を多くの人が指摘しており（49%）、車を利用しているが公共交通に対する不満をあげていることから公共交通の潜在的な需要がうかがえる。その他には、「時間が読めない」（43%）、「通勤・通学に時間がかかる」（35%）も多い。



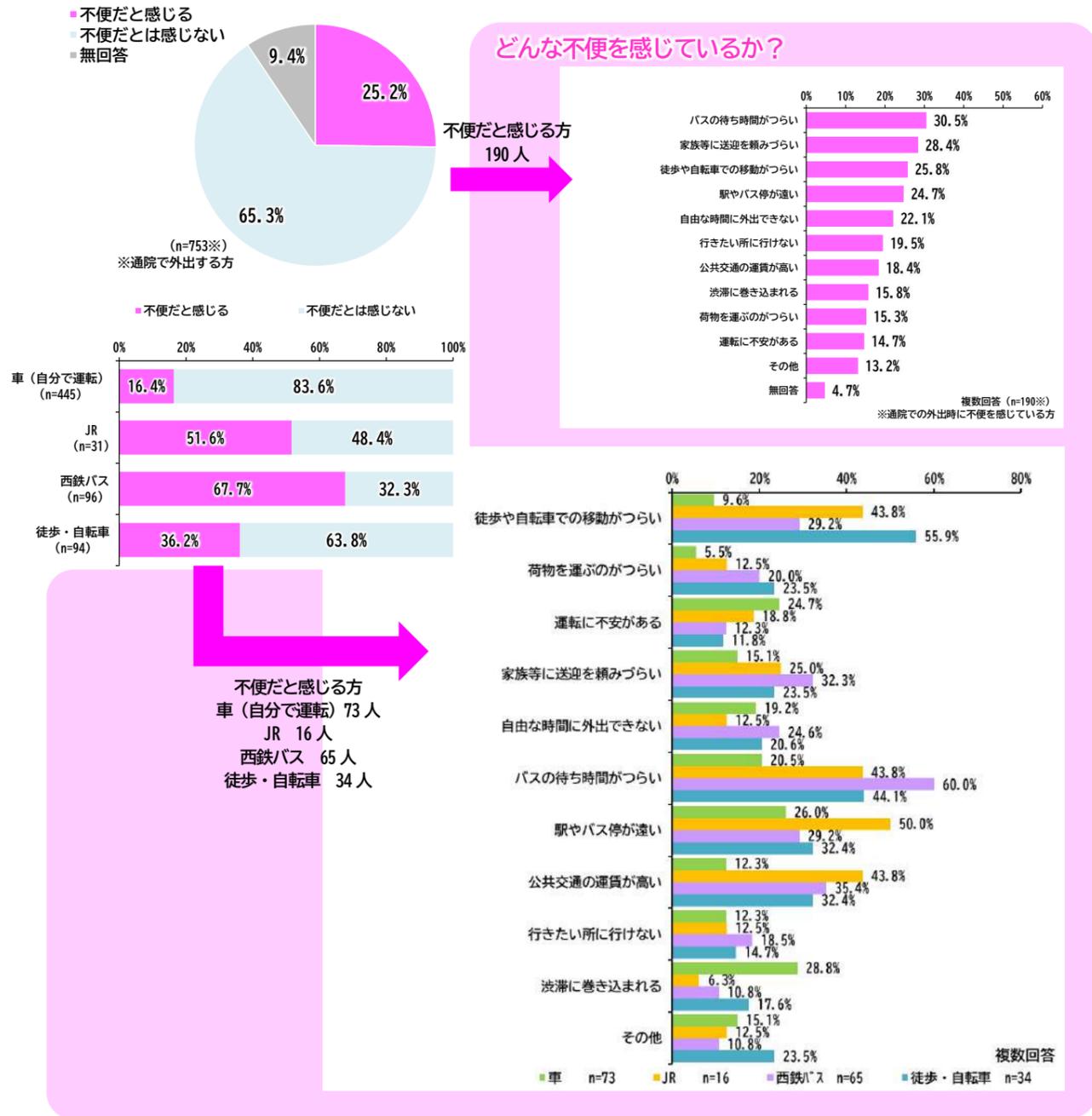
■日常的な買物に関する困りごと

- 買物時の移動に対しては、24%が不便さを感じている。交通手段別にみると、車（自分で運転）を利用している人は17%、JR利用者は51%、西鉄バス利用者は63%、徒歩・自転車利用者は35%と、公共交通利用者は5~6割強が不便さを感じている。
- その内容は、JR利用者は「駅やバス停が遠い」（64%）、西鉄バス利用者は「バスの待ち時間がつらい」（51%）、徒歩・自転車利用者は「荷物を運ぶのがつらい」（50%）をそれぞれ最も多く指摘している。また、各指摘事項は他の交通手段利用者からの指摘割合も高く、共通する困りごととなっている。
- 車（自分で運転）利用者では、「渋滞に巻き込まれる」を多くの人が指摘している（33%）。また、「駅やバス停が遠い」も32%が指摘しており、車を利用しているが公共交通に対する不満をあげている。



■通院に関する困りごと

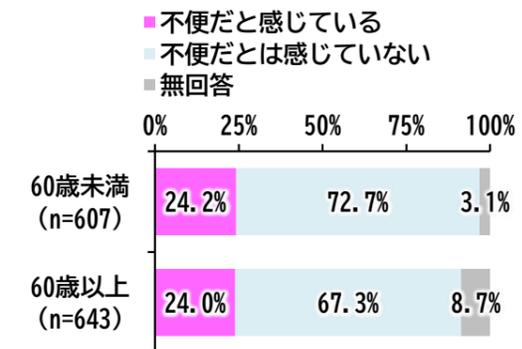
- ・通院時の移動に対しては、25%が不便さを感じている。交通手段別にみると、車（自分で運転）を利用している人は16%、JR利用者は52%、西鉄バス利用者は68%、徒歩・自転車利用者は36%と、公共交通利用者は不便さを感じている割合が高い。
- ・その内容は、西鉄バス利用者は「バスの待ち時間がつらい」（60%）、JR利用者は「駅やバス停が遠い」（50%）、徒歩・自転車利用者は「徒歩や自転車での移動がつらい」（56%）をそれぞれ最も多く指摘している。また、各指摘事項は他の交通手段利用者からの指摘割合も高く、共通する困りごととなっている。その他、「公共交通の運賃が高い」をそれぞれ40%前後が指摘、路線バス利用者では「家族等に送迎を頼みづらい」も高い（32%）。



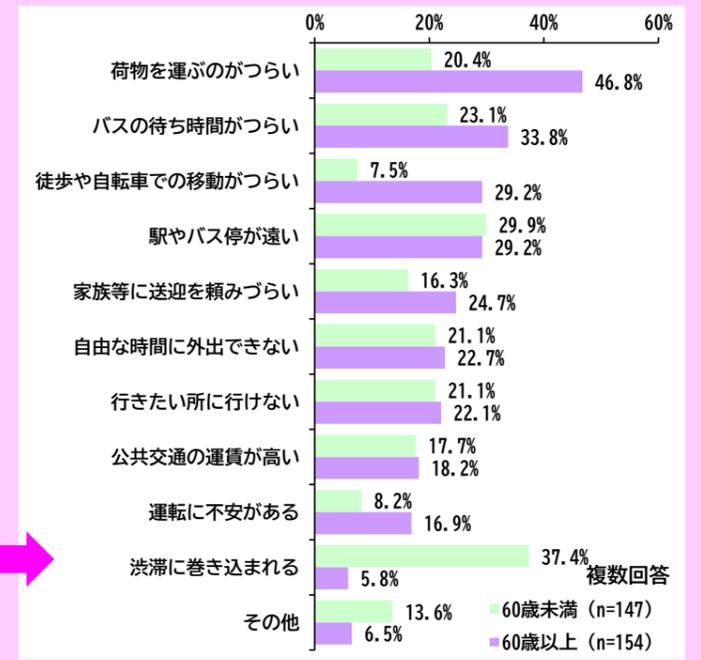
■60歳未満と60歳以上の意識のちが

【日常的な買物】

- ・買物時の移動に対して、24%が不便を感じている。
- ・60歳以上は、「荷物を運ぶのがつらい」（47%）や「バスの待ち時間がつらい」（34%）、「徒歩や自転車での移動がつらい」（29%）、「駅やバス停が遠い」（29%）などが多く指摘されている。

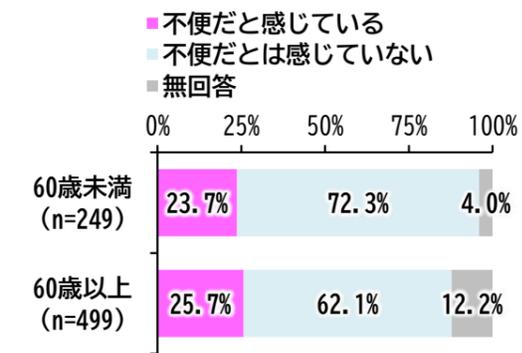


どんな不便を感じているか？

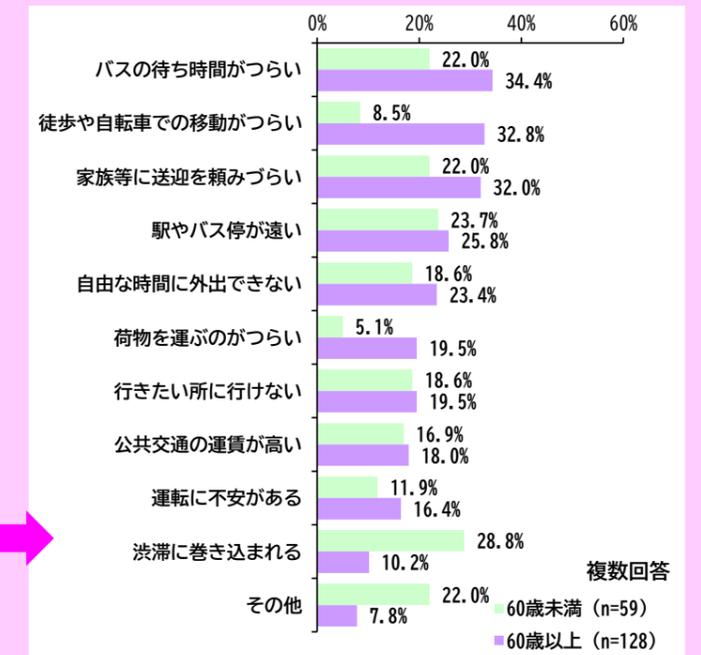


【通院】

- ・通院時の移動に対して、24~26%が不便を感じている。
- ・60歳以上は、「バスの待ち時間がつらい」（35%）や「徒歩や自転車での移動がつらい」（32%）、「家族等に送迎を頼みづらい」（32%）などが多く指摘されている。



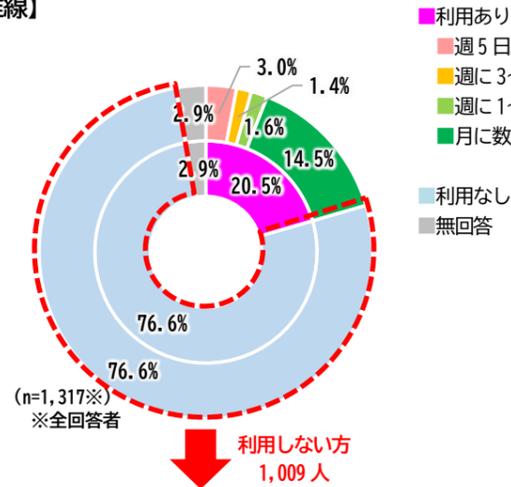
どんな不便を感じているか？



② 公共交通を利用しない理由 (住民アンケートより)

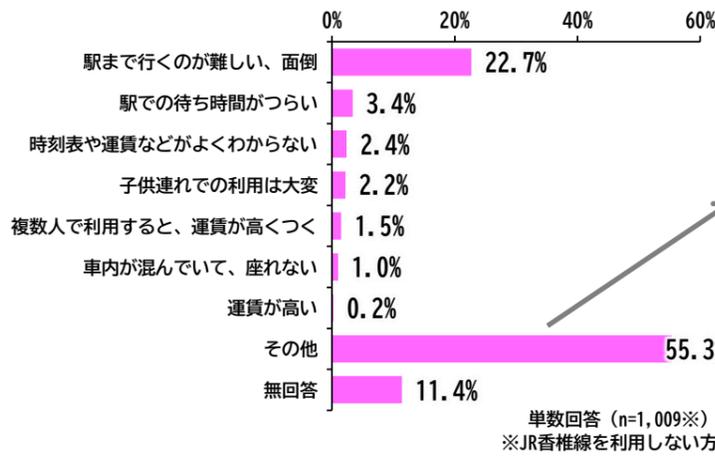
- ・ JR 香椎線を利用していない人は 77% を占める。その利用しない理由は、「駅まで行くのが難しい、面倒」が突出して多い (22%)。
- ・ 西鉄バスを利用していない人は 65% を占める。その利用しない理由は、「目的地まで時間がかかる」(13%)、「便数が少ない、利用したい時刻に運行がない」(12%) が多くあげられている。
- ・ 福祉巡回バス「ハピネス号」を利用していない人は 91% を占める。その利用しない理由は、「利用できるバスがあるのか、よくわからない」(20%) が最も多くあげられている

【JR香椎線】



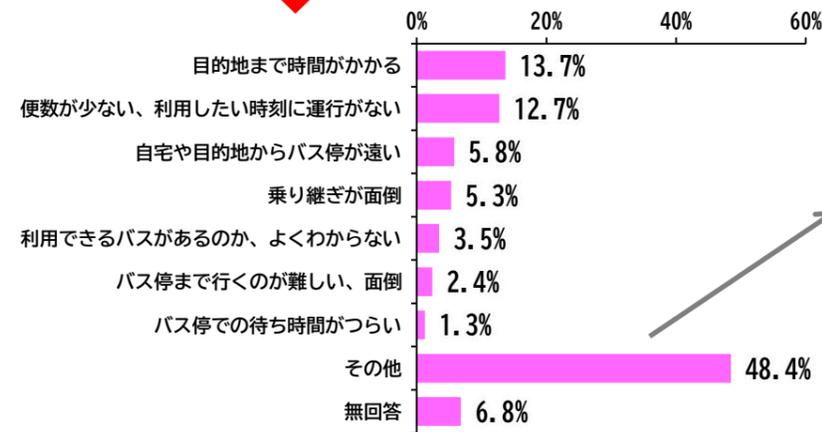
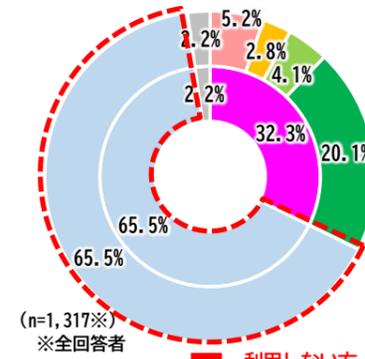
■ 利用しない理由(その他回答) ※同種意見は集約

具体の意見	回答数
車(自分で運転)を使う、車が便利	231
使う機会がない、必要がない	169
乗継が面倒、待ち時間が長い	21
バスを使う	20
必要な時のみ(年数回程度)利用している	20
目的地が駅から遠い	11
通勤・通学に使えない	9
家族の送迎がある	8
コロナ	6
便数が少ない	6
原付・バイクを使う	4
身体的理由から	4
便利じゃないから	4
時間が合わない	2
駐車場がない	1
駐車場代と運賃がかかる。公共の駐車場があったら利用するかも。駅までのバスも少ない。	1
他人といるのがつらい	1
その方面に行かないのと学生のマナーが悪すぎる	1
電車に乗ってでかけたい気持ちはあるが家業ででかけられない	1
博多より飲み会等で帰る時香椎線が来ず、風邪をひいて、宇美駅でもバスが来ず、タクシー居なくひどい目に合った。	1
無回答	37
合計	558



単数回答 (n=1,009※)
※JR香椎線を利用しない方

【路線バス(西鉄バス)】

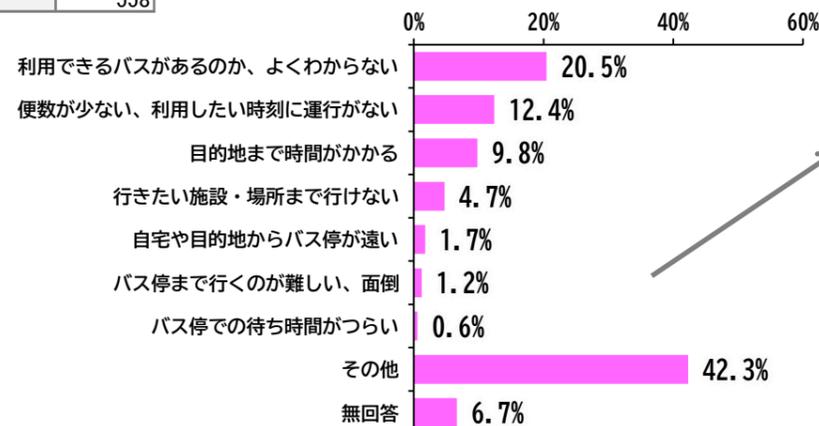
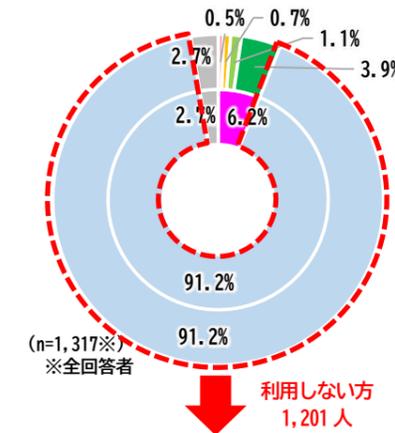


単数回答 (n=863※)
※西鉄バスを利用しない方

■ 利用しない理由(その他回答) ※同種意見は集約

具体の意見	回答数
車(自分で運転)を使う、車が便利	258
使う機会がない、必要がない	72
家族の送迎がある	12
必要な時のみ(年数回程度)利用している	12
身体的理由から	7
コロナ	4
原付・バイクを使う	3
便利じゃないから	3
料金が安い	2
JRを使う	2
子どもがいるから	2
通勤・通学に使えない	2
時間と費用がかかる	2
タクシー利用	1
めんどう	1
荷物を持って乗り降りするのがめんどう	1
近くにバス停なし	1
行きたい場所にバス便がない	1
人の密集を避けたいので	1
他人といるのがつらい	1
無回答	30
合計	418

【福祉巡回バス「ハピネス号」】



単数回答 (n=1,201※)
※福祉巡回バスを利用しない方

■ 利用しない理由(その他回答) ※同種意見は集約

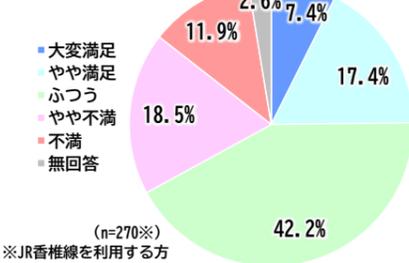
具体の意見	回答数
車(自分で運転)を使う、車が便利	277
使う機会がない、必要がない	112
高齢者が使うバスだと認識していた	18
乗り方がわからない、知らなかった	12
家族の送迎がある	9
常連利用者のマナーが悪い	4
原付・バイクを使う	4
自転車を使う	4
西鉄バスを使う	3
時間やルートが合わない	3
徒歩で行く	3
身体的理由から	3
将来は使うと思う	2
う回し過ぎて目的地まで所要時間がかかりすぎ...	1
会社帰りに買物、病院へ行く為	1
タクシー利用	1
ハピネスまで近いので	1
犬と一緒にだから	1
子連れなので不便	1
自分で動けるから	1
自分のペースで行きたいから	1
人が多い時がある。目的地まで時間がかかる	1
調べるのが面倒。使用しているアプリで検索できない	1
めんどう	1
JR香椎線、西鉄バスと同じ理由	1
無回答	42
合計	508

③ 公共交通の今後のあり方（住民アンケートより）

■宇美町の公共交通に対する満足度

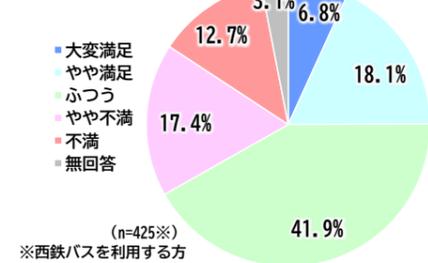
- 公共交通に対する満足度は、JR香椎線と西鉄バスでは、「満足」よりも「不満」の指摘割合の方が高くなっている。
- 一方、福祉巡回バスに対する満足度は、利用している人の人数自体は少ないものの利用者からの「満足」と「不満」の指摘割合はちょうど半々であった。

【JR香椎線】



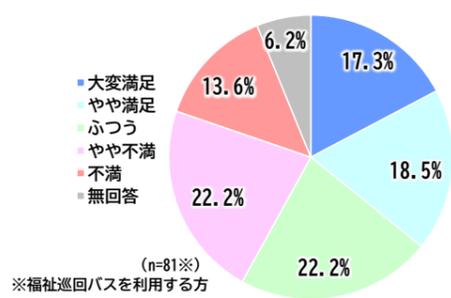
※JR香椎線を利用する方 (n=270※)
不満：30.4% > 満足：24.8%

【西鉄バス】



※西鉄バスを利用する方 (n=425※)
不満：30.1% > 満足：24.9%

【福祉巡回バス「ハピネス号」】

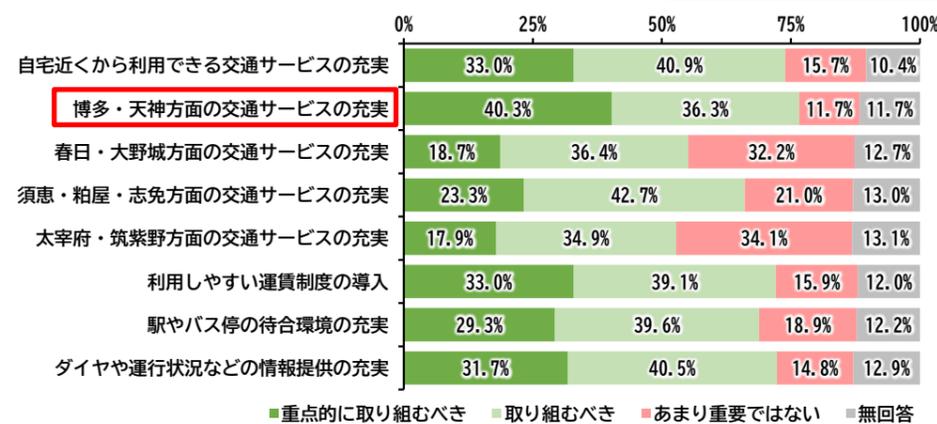


※福祉巡回バスを利用する方 (n=81※)
不満：35.8% = 満足：35.8%

■宇美町の公共交通の今後のあり方に対する意見

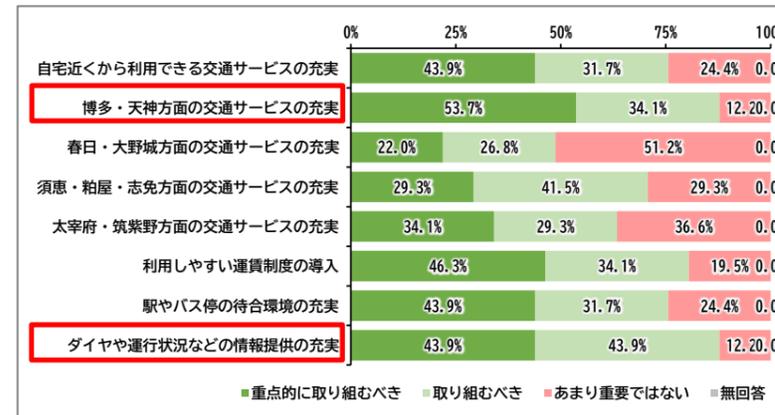
- 取り組むべきという指摘割合が最も高いのは、「博多・天神方面の交通サービスの充実」であり、特に若い方からの指摘割合が高い傾向にあった。
- 次いで、指摘割合が高いのは、「自宅近くから利用できる交通サービスの充実」であり、70歳代や80歳以上の方からは最も望まれている意見であった。

【全年齢 n=1,317】

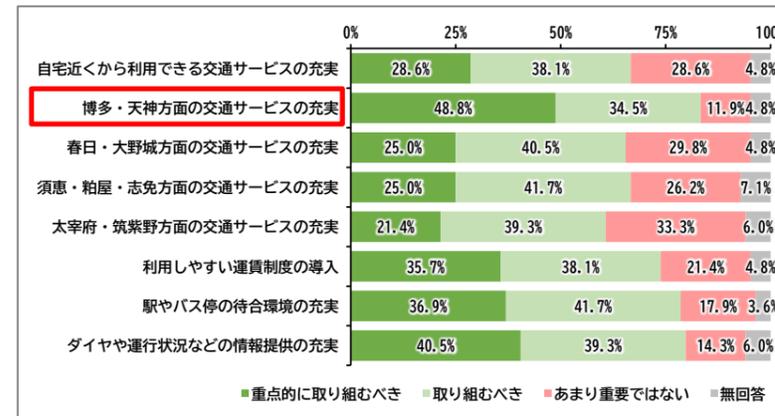


取り組むべきとの指摘が一番高い

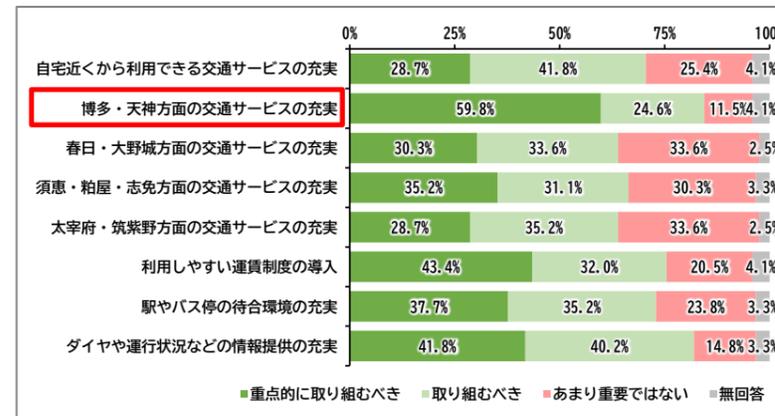
【10歳代 n=41】



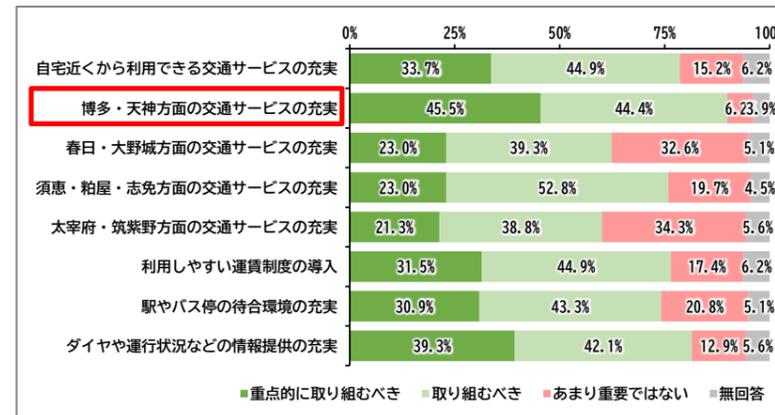
【20歳代 n=84】



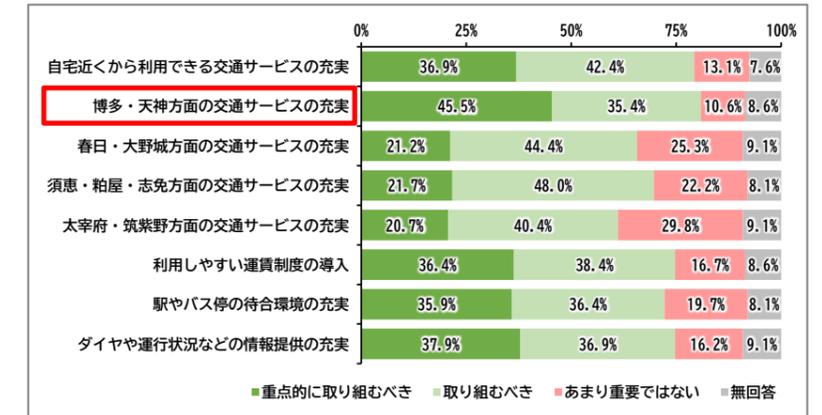
【30歳代 n=122】



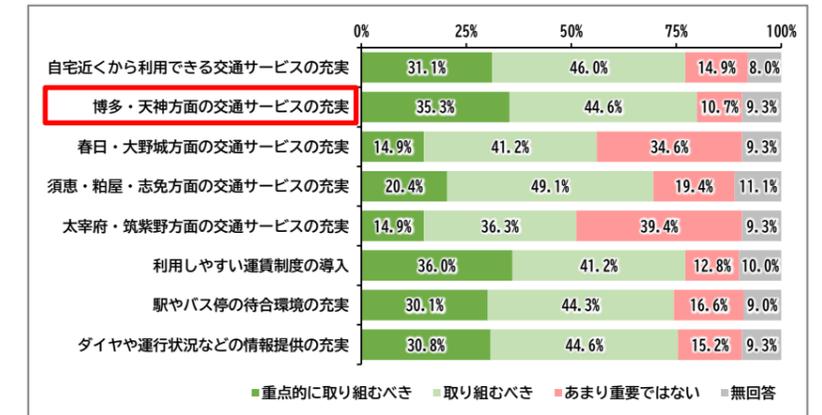
【40歳代 n=178】



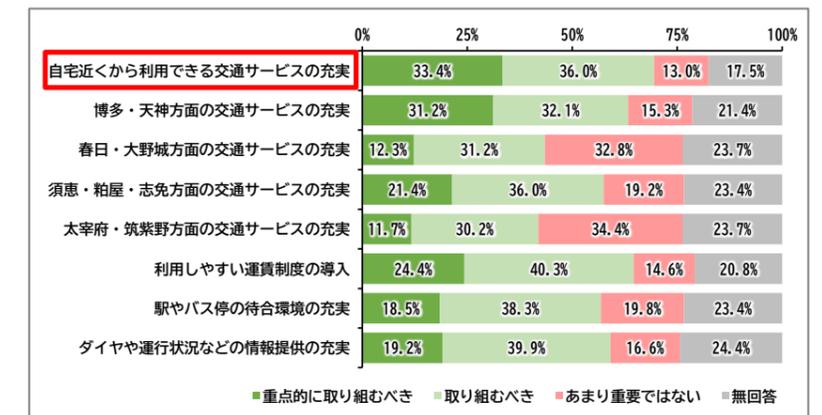
【50歳代 n=189】



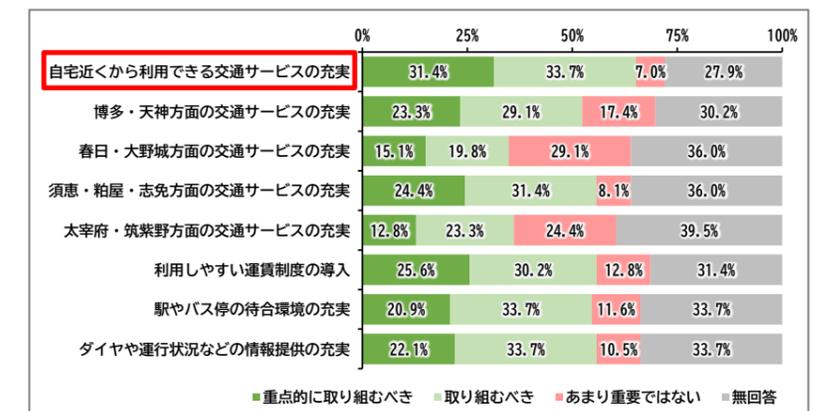
【60歳代 n=289】



【70歳代 n=308】

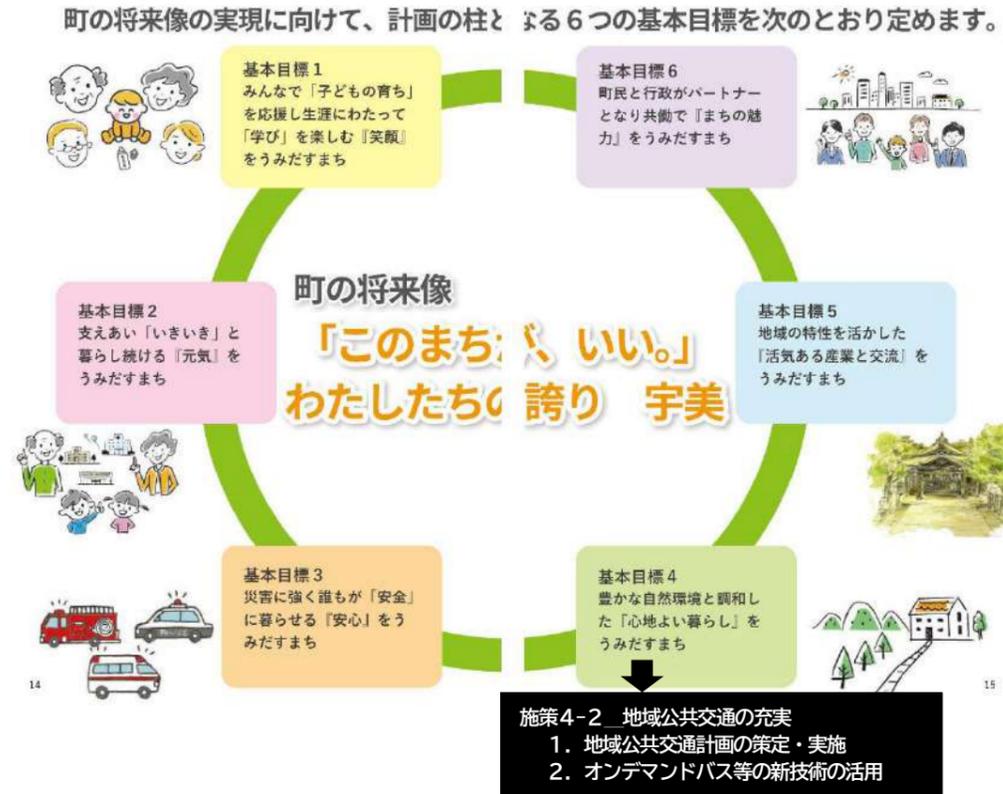


【80歳以上 n=86】

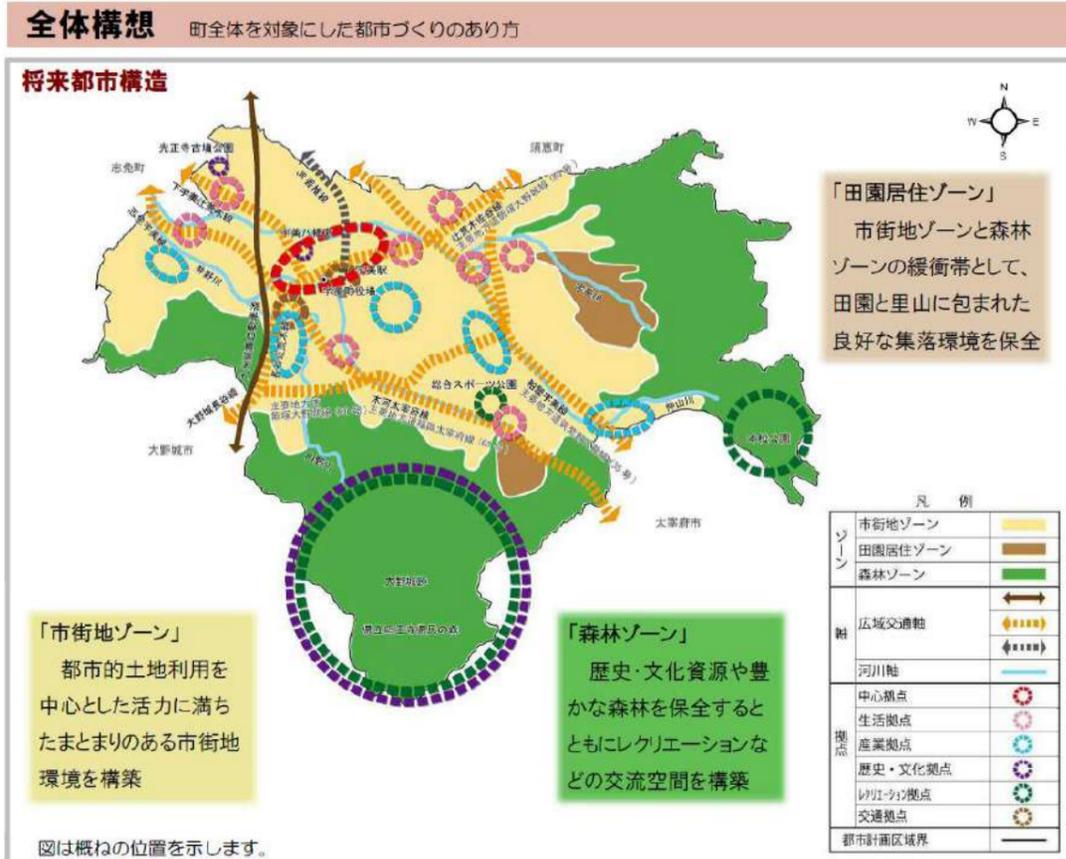


8-5 宇美町のまちづくりの方針

① 町の課題とまちづくりの方針



出典：第7次宇美町総合計画



出典：宇美町都市計画マスタープラン

② 上位・関連計画における公共交通の役割と関連施策

計画	公共交通に期待される役割	公共交通に関連する施策
第7次宇美町総合計画	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって「学び」を楽しむために、学習活動や地域の交流の拠点へのアクセスを確保する 「いきいき」と暮らし続けるために、高齢者の集いの場へのアクセスを確保する 「安全・安心」に暮らせるように、自家用車に依存し過ぎない環境を整える 「心地よい暮らしの実現(誰もが快適に暮らせるまち)に向けて、町民の移動を支える、脱炭素に貢献する、適正な土地利用に貢献する 移住・定住の促進に向けて、まちの魅力を高めるために、移動の利便性を確保する 	<p>基本目標 4 豊かな自然環境と調和した『心地よい暮らし』をうみだすまち</p> <p>施策 4-2 地域公共交通の充実</p> <p>1 地域公共交通計画の策定・実施 各種交通サービスの持続的な確保と利用者の利便性の維持・向上に努める。</p> <p>2 オンデマンドバス等の新技術の活用 「いつでも、どこでも、早く、簡単に」オンデマンドバスの利用予約ができるようアプリの活用と利用状況データを分析し、乗降ポイント等、運行形態の最適化を行うとともに、他の交通サービスとの連携を強化する。</p>
宇美町人口ビジョン	転入増加や出生率上昇に向けて、移住者に選ばれるまち、子育て世帯に選ばれるまちを実現するための交通面での貢献が求められている	※公共交通に関する直接的な施策の記述はなし。
第2期宇美町総合戦略	「基本目標 3:誰もが安心して暮らし、活躍できるまち(地域社会)をつくる」を達成するため、町民にとって利便性の高いまちとなるような役割が期待されている。	(3)町民の利便性の向上 町民の日常生活に不可欠なJRや西鉄バスなどの公共交通機関を維持するとともに、福祉巡回バス(ハピネス号)の運行による利便性の向上に努める。また、宇美町における公共交通に関するデータ収集・分析に努め、地域交通の在り方についての検討を進める。
宇美町都市計画マスタープラン	周辺市町や町内地域間をつないで、町内のどこからでも誰もが快適に移動できる環境を提供することが求められている。	「3. 都市施設の整備等に関する方針」 (2)地域公共交通ネットワークの形成 町内のどこからでも誰もが快適に移動できる環境整備を推進する。特に、鉄道・路線バス・福祉巡回バス(ハピネス号)などの地域公共交通の利便性を高めるとともに、交通結節点となる JR 宇美駅から周囲の役場などの主要施設を結ぶ経路のバリアフリー化を推進する施策
第2次宇美町総合福祉計画	交流やふれあいを促進していくために、高齢者の活動の場へ移動する手段としての役割が期待されている。	地-3:地域交通の見直し検討 福祉巡回バス(ハピネス号)の運行について、自治会をはじめとした地域コミュニティの活動に合わせる等、障がい者及び高齢者等の交通手段の確保に配慮した地域交通の見直しを検討する。 高-7:移動支援の充実 ハピネス号等の交通システムの在り方について、住民のニーズを踏まえつつ検討する。
第二期宇美町子ども・子育て支援事業計画(うみっ子未来プラン)	計画内で「交通」について、安全な交通環境の整備、交通安全教育などの記載があるものの、公共交通に触れられた記載はなし。	※公共交通に関する直接的な施策の記述はなし。
宇美町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)「ゼロカーボンシティうみ」宣言	公共交通利用を促進することで、温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みを行うことが期待されている。	(2)財やサービスの使用に関する取り組み 4)燃料使用量 温暖化対策の推進